

静岡県三島市

文化財年報

第29号



2017
三島市教育委員会

表紙イラスト

歴まちカード

中部地方の歴まち認定12都市の象徴的な風景を写真で紹介するとともに、地域固有の歴史的文化的資産のスポット等を紹介するカード。

本文27ページ参照

静岡県三島市

文化財年報

第29号

2017
三島市教育委員会

序 文

平成28年度は、三島の誇る文化財に関連した多くの事業が進展いたしましたが、なかでも『三島市歴史的風致維持向上計画』が国から認定を受けたことは、特筆に値するのもと考えます。

歴史的風致とは、地域における固有の歴史や伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物などが一体となって形成してきた良好な市街地の環境を言います。

三島の地は、奈良時代に国府が置かれ伊豆國の国府になり、政治や経済の中心地となりました。また、平安時代に遷座されたと推定されている三嶋大社があったことで、信仰の中心地としても繁栄しました。さらに、当時の三島は、東西方向に伸長する平安・鎌倉古道や南進する下田街道、北進する佐野街道が三嶋大社の西側で十字に交差する交通の要衝となっていたため、多くの人や物が行き交う地でもありました。そして、富士からの恵みである豊富なせせらぎは大地と人々を潤してきました。このような環境は、農業・商業・工業のみならず、地域固有の伝統行事とも相まって、人々の生活を豊かなものにしてきました。

現在、こうして受け継がれてきた歴史的風致や文化財は、大切に保存することと併せて活用のための措置も重要視されています。この動きは、これからますます活発化すると思われます。しかし活用する際は、活用する側がどれだけきちんとその事物を理解、認識しているのかが重要になってきます。

本市は日々、過去から現在に至る先人の多種多様な痕跡をひとつひとつ拾い上げ、これまでに育まれてきた文化の確かな情報を後世に伝えることを使命とし、埋蔵文化財行政及び文化財保護事業に邁進しております。今後も、この使命を旨とし、さらに、過去から未来に引き継ぐべき市民の財産である文化財を、現在という時空で有効かつ適切に活用し、文化の薫る街づくりに寄与してまいります。

本書は、三島市が平成28年度に実施した文化財保護事業を広く紹介するために作成したものです。多くの人々の目にふれ、郷土三島の歴史と文化を再認識する資料として、お役立ていただければ幸甚です。

また、日ごろより本市の文化財行政推進につきまして、ご理解・ご協力を賜りました関係各位に対し、深甚なる敬意を表しつつ、刊行のことばとします。

平成29年12月

三島市教育委員会
教育長 西 島 玉 枝

例　言

1. 本書は平成28年度に実施した三島市内における文化財関係事業の概要をまとめたものである。
2. 文化財関係事業は、埋蔵文化財調査、文化財保存管理、委員会及び協議会、文化財啓発活動、その他に区分した。
3. 本書掲載の各種事業は、三島市教育委員会が主体となり実施したが、市域内で実施した静岡県教育委員会文化財保護課の発掘調査事業についても、市域の遺跡として網羅し掲載した。
4. 本書における挿図の提供と執筆は、各調査、各事業の担当者が行った。それぞれの執筆分担は、以下に示すとおりである。本書に係る事業計画、挿図版及び本文の編集は辻が行った。

I. 辻 真人

II. B. 1～17. 辻 真人

C. 1. 岩名建太郎

E. 1. 辻 真人

III. A. 寺田光一郎

B. 寺田光一郎

IV. A. 辻 真人

B. 辻 真人

V. A. 寺田光一郎

VI. A. 寺田光一郎

付編 1～9. 須原淑乃 10・11. 辻 真人 12～15. 須原淑乃

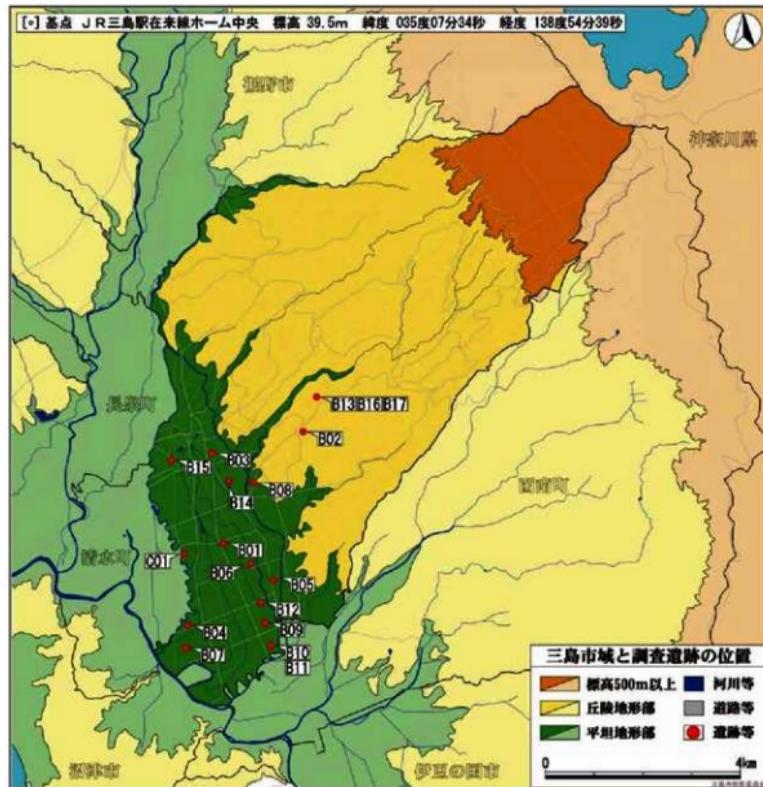
5. 平成28年度文化財関係組織

教　育　長	西島玉枝	文化財係主任学芸員	辻　真人
教　育　推　進　部　長	小池　満	文化財係臨時職員	寺田光一郎
文　化　振　興　課　長	岡村秀一	文化財係臨時職員	渡辺　薰
文　化　振　興　課　長補佐	芦川忠利	文化財係臨時職員	矢田香緒里
文　化　振　興　係　係　長	磯崎　諭	文化財係臨時職員	伊庭　美紀子
文　化　振　興　係　副　主　任	石井章代	文化財係臨時職員	須原淑乃
文　化　振　興　係　副　主　任	杉山孝二		
文　化　振　興　係　主　事	小柴晶之		
文　化　振　興　係　主　事	栗原菜摘		
文　化　振　興　係　主　事	石井陽子		
文　化　振　興　係　臨　時　職　員	工藤なつみ		

目 次

I.	平成28年度文化財保護事業の概要	1
II.	埋蔵文化財調査	
B.	確認調査（補助金充当）	
1.	青木B遺跡第9地点	2
2.	初音ヶ原B遺跡第17地点	3
3.	塔ノ森魔寺第13地点	4
4.	長伏遺跡第8地点	5
5.	下久保遺跡第4地点	6
6.	鶴喰広田遺跡第11地点	7
7.	中ノ坪遺跡第12地点	8
8.	谷田前田遺跡第7地点	9
9.	伊勢塙遺跡第18地点	10
10.	堀込遺跡第11地点	11
11.	堀込遺跡第12地点	12
12.	宮城遺跡第2地点	13
13.	下原遺跡第9地点	14
14.	上才塙遺跡第14地点	15
15.	伊豆国分寺跡第14地点	16
16.	下原遺跡第10地点	17
17.	下原遺跡第11地点	18
C.	外部組織	
1.	拶子地遺跡第3地点	19
D.	整理作業	
1.	市内遺跡整理調査事業	20
III.	文化財保存管理	
A.	保護保存事業（1. 推定平安・鎌倉古道と箱根旧街道）	22
B.	環境整備事業（1. 史跡山中城跡整備事業）	24
IV.	委員会及び協議会	
A.	1. 三島市文化財保護審議委員会	25
B.	1. 全国史跡整備市町村協議会及び東海地区協議会	26
V.	文化財啓発活動	
A.	1. 文化財防火アート	26
VI.	整備活用事業	
A.	1. 歴史的風致維持向上事業	27

付編 1. 国指定文化財一覧表	28	付編 9. 遺物整理調査事業一覧表	30
付編 2. 県指定文化財一覧表	28	付編10. 発掘調査事業一覧表	30
付編 3. 市指定文化財一覧表	28	付編11. 立会調査事業一覧表	31
付編 4. 重要美術品一覧表	29	付編12. 講師派遣等一覧表	31
付編 5. 登録有形文化財（建造物）一覧表	29	付編13. 考古資料貸出・提供一覧表	32
付編 6. 静岡県の近代和風建築一覧表	30	付編14. 写真資料使用承諾一覧表	32
付編 7. 天然記念物（地質鉱物）調査物件一覧表	30	付編15. 文化財関係刊行図書一覧表	32
付編 8. 静岡県の近代化遺産一覧表	30		





平成28年度文化財保存事業の概要

水と緑に囲まれ自然環境に恵まれた三島市は、現在487ヶ所の遺跡が確認されており。旧石器時代の古くから人々の生活が営まれ、3万年の息吹を感じることのできる地である。

奈良時代には伊豆国成立によって国府が置かれ、国分寺・国分尼寺が建立され地方行政の中心となり、鎌倉時代には伊豆一宮である三嶋大社の門前町として信仰の拠点となった。さらに江戸時代には徳川幕府により東西方向に延びる東海道が整備したことによって宿場町として賑わいを見せた。三島の地は伊豆半島の付け根部分にあたるため、三嶋大社の鳥居前が南の伊豆下田に向かう下田街道の起点となり、また三嶋大社西側からは山梨方面に向かう佐野街道が北に延びている。このようにして四辻の機能を持った三島は、文化や物資などが東西・南北に行きかい繁栄してきたという歴史を有している。

三島市の文化財保護行政としては、こうした先人の築いた歴史的文化遺産の保護・保存・活用・継承を図るため、埋蔵文化財の発掘調査や整理作業をはじめ、文化財の調査・指定・保護、史跡山城跡並びに向山古墳群の環境整備、箱根旧街道・平安鎌倉古道の保存管理、文化財啓発活動に努めている。

平成28年度は、決算額で約7,227万円の事業費により、次のような事業を実施した。

- 埋蔵文化財関係では、本調査の必要性の確認や建設工事に伴う確認調査として、青木B遺跡・初音ヶ原B遺跡・塔ノ森庵寺・長伏遺跡・下久保遺跡・鶴喰広田遺跡・中ノ坪遺跡・谷田前田遺跡・伊勢塙遺跡・堀込遺跡・宮城遺跡・下原遺跡・上才塚遺跡・伊豆国分寺跡・14遺跡17地点を実施した。
また調査遺跡の内容を記録保存し、一般に公開するため、出土遺物・遺構の整理作業を行い、「三島市埋蔵文化財発掘調査報告XXI」と「三島市埋蔵文化財発掘調査報告補助事業版第2号」を発行した。
- 国指定史跡の山中城跡関係では、除草・下刈り、芝生管理等日常の維持管理に努めるとともに、樹木刈込業務委託を行い景観の維持・改善を図った。
また、昭和48年の第1期整備から40年以上が経過し、堀や土塁の崩落が進行しているため、平成24年度から同30年度までの7ヶ年計画で、8地点8,000m²の再整備を行っており、平成28年度は二ノ丸虎口土塁、本丸西堀の再整備を行った。
- 向山古墳群環境整備事業関係では、景観を維持するため古墳や遊歩道において雑草等の下刈りを行った。
- 文化財管理関係では、箱根旧街道及び推定平安鎌倉古道において保存管理のための下草刈りを行った。
また、箱根松並木においては、下草刈り、植栽帯刈り込み、遊歩道清掃、害虫防除・樹勢維持のためのコモ巻き及び薬剤樹幹注入を実施した。
- 協議会関係では、「全国史跡整備市町村協議会」理事市及び「同協議会東海地区協議会」副会長市として活動した。
- 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）に定める歴史的風致維持向上計画の認定を平成28年10月3日に受けた。

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ(B) 青木B遺跡 AOKI 第9地点

所在地 三島市青木地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 20.0m² (遺跡面積984.08m²)
 調査の期間 平成28年4月19日～4月20日
 調査の原因 共同住宅建設に伴う確認調柶
 遺跡の位置 三島市遺跡図No.411 青木B遺跡は、

三島駅の南南東(N-158.0°-E) 2.53km、御殿川左岸の微高地に位置し、標高約16.3mを測る。

【緯度35度06分17.35秒・経度138度55分18.77秒】

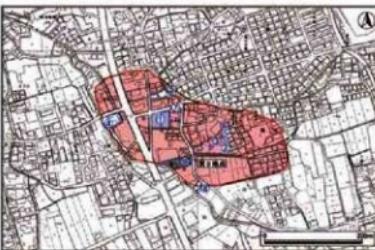
調査の概要 調査方法はトレンチ調柶法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを5箇所配置した。事業面積に対する確認調柶率は約2.03%であった。調柶は重機(O1)によって盛り土層を排除した後、作業員延べ6名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大1.15mまで掘り下げを行い、事業地付近の基盤層となる硬砂層を確認したが、全てのトレンチで遺構と遺物は出土しなかった。2トレンチの東壁断面で層序の確認を行い4層に分層した。1層は駐車場路盤の碎石層、2層は碎石を含む盛り土層、3層はロームブロックや軽石を含む盛り土層で青灰色に変色しており、一時期地下水位が上昇していた事が推定できる。4層は茶褐色の細砂層で鉄分の沈着が顕著である。調柶地点に遺物包含層となる土層の堆積が全く認められなかったが、南東側の畑作耕作土中に少量の土器が含まれる事から遺跡は調柶地点の東側に存在する事が推定できる。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

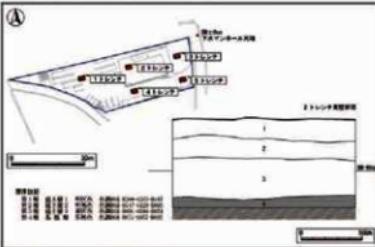
調柶の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調柶の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調柶の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年5月6日付で指示通知(立会調柶)があり、立会調柶を実施して全ての現地調柶を完了した。



第1図 調柶遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調柶地点の位置(1/10,000)



第3図 トレンチ配置と
2トレンチ東壁断面図(1/2,000 - 1/40)



写真 調柶状況

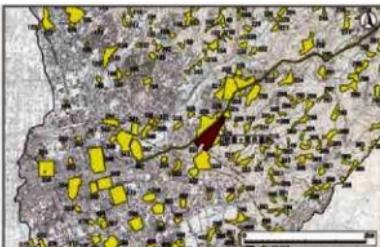
埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ-B-2 初音ヶ原B遺跡 NATUNEGAHARA 第17地点

所在地 三島市谷田字大原地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 8.0m² (遺跡面積980.31m²)
 調査の期間 平成28年4月26日～4月27日
 調査の原因 宅地造成工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.348 初音ヶ原B遺跡は、三島駅の東 (N-92.0°-E) 2.38km、箱根山西麓に複数伸びる尾根の末端部に位置し、標高約83.0mを測る。

【緯度35度07分31.68秒・経度138度56分16.76秒】
 調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲の任意の位置に1.6m×2.5mのトレンチを2箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約0.82%であった。開発計画の都合上、工事着手まで事業地の樹木の伐採は行えないとの事で重機の使用ができないため、作業員延べ8名の手掘りによる堆土と平面確認を繰り返し、表土下最大1.38mまで掘り下げを行った。1トレンチの南壁断面で層序の確認を行い8層に分層した。1層は黒色の腐植土層、2層は黒褐色の漸移層、3層から5層はローム質土で微量に含まれるスコリアの相違と壁面を削った時の感触によりYLU、YLM、YLLの3層に分層した。6層はBB0層、7層はSCI層、8層はBBI層に相当する。2層が绳文時代、3層から8層が旧石器時代の遺物包含層になると考えられるが、いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構なし、遺物なし

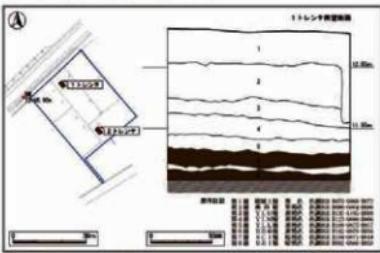
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と併に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年5月25日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/10,000)



第3図 トレンチ配置と
1トレンチ南壁断面図 (1/2,000 - 1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II③ 塔ノ森廃寺 TOUNOMORI
 第13地点

所在地 三島市大宮町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 4.0m² (147.34m²)
 調査の期間 平成28年5月6日
 調査の原因 個人住宅建設に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡図N.348 塔ノ森廃寺は、

三島駅の東南東 (N-112.0°-E) 0.76km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高約29.2mを測る。

【緯度35度07分24.58秒・経度138度55分10.33秒】

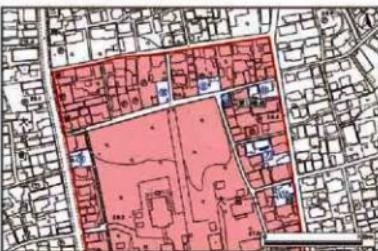
調査の概要 調査方法はトレント調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレントを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.71%であった。調査は重機(OI)によって盛り土層を除去した後、作業員2名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.74mまで掘り下げを行った。層序の確認は北壁の断面で行い4層に分層した。1層は茶褐色土、2層は黒褐色土で、いずれも現代の盛り土層である。3層はやや柔らかい黒褐色土、4層は非常に硬く締った茶褐色の砂礫層で、この地域の基盤層となる御殿場泥流堆積層に相当し、層中には径50cmを超える軽石を多く含む。また調査地点周辺には「第二次世界大戦中に大きな穴を掘った」という話が伝わっており、北壁断面で東側に向かって不規則に削り込まれている第4層上面がこの穴の痕跡と推定できる。遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構なし、遺物なし

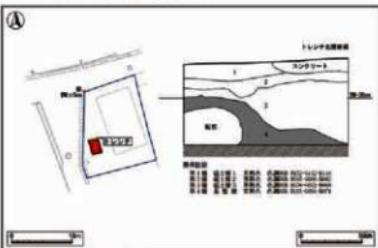
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域、あるいは後世の地形変更による遺跡の消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査の副申を進呈した。静岡県教育委員会からは平成28年5月25日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレント配置と
トレント北壁断面図 (1/800 - 1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)

II B ④

長伏遺跡

NAGABUSE
第8地点

所在地 三島市長伏地先

調査主体者 三島市教育委員会

調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人

調査の面積 16.0m² (遺跡面積796.02m²)

調査の期間 平成28年5月20日～5月21日

調査の原因 宅地造成工事に伴う確認調査

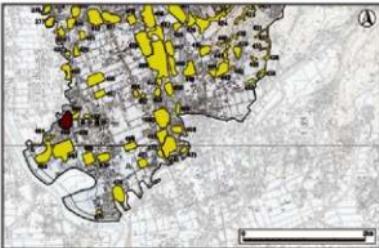
遺跡の位置 三島市遺跡地図No.463 長伏遺跡は、三島駅の南(N-177.0'-E)3.92km、境川左岸の微高地に位置し、標高約11.7mを測る。

【緯度35度05分27.38秒・経度138度54分51.81秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを4箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.01%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を排除した後、作業員5名の手掘りによる堆土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.95mまで堀り下げを行った。層序の確認は4トレンチの東壁断面で行い6層に分層した。1層は駐車場路盤の碎石層、2層と3層は6層の基盤層に類似する盛り土層である。4層は灰褐色に見られる旧水田耕作土、5層は鉄分の沈着が顕著に見られる旧水田の床土層、6層は事業地付近の基盤層となる暗褐色の細砂とシルトの互層である。調査地点では遺物包含層となる土層の堆積が全く認められなかったが、東側に隣接する桶田遺跡からは平安時代の5軒の住居跡や3棟の堀立柱建物跡、墨書き器等が出土している。今回の調査では、全てのトレンチで遺構・遺物は出土しなかった。

遺構・遺物 遺構 なし、遺物 なし

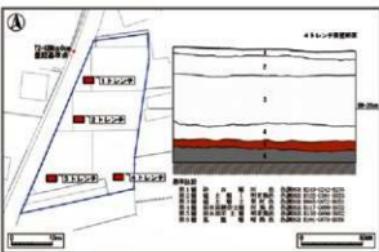
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域、あるいは後世の地形変更による遺跡の消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく文化財保護法第93条第1項の届出と併に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年6月13日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と4トレンチ東壁断面図(1/1,200・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ⑤ 下久保遺跡 SHIMOKUBO 第4地点

所在地 三島市中島地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 江眞人
 調査の面積 4.2m² (521.71m²)
 調査の期間 平成28年5月28日
 調査の原因 個人住宅建設に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡図N448 下久保遺跡は、

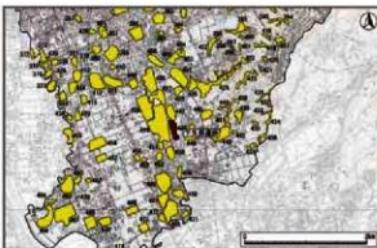
三島駅の南南東(N-147.0°-E) 3.65km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高約14.8mを測る。

【緯度35度05分54.36秒・経度138度56分0.54秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.2m×3.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約0.81%であった。調査は重機(OI)によって盛り土層を排除した後、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.72mまで堀り下げを行った。層序の確認はトレンチの南壁断面で行い5層に分層した。1層は駐車場の碎石層、2層は盛り土層、3層は旧畑の耕作土、4層と5層は大場川の沖積層で、鉄分が沈着する砂礫層である。5層から完形の壺2点を含む平安時代の土器が少量出土したが、遺構を確認する事ができなかった。周囲より一段高い調査地点は半島状の微高地で、標高差2.5mを測る東側と南側の水田は大場川の旧河道であった事が推定できる。

遺構と遺物 遺構なし、遺物 土師器

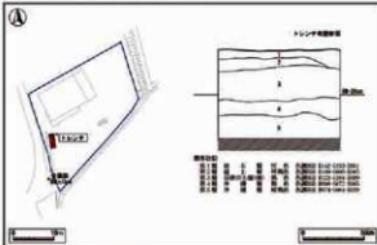
調査の成果 この結果、5層が遺物包含層となり、事業地に遺跡が存在する事が推定できるが、計画建物の設計GLはBM+55cm、深基礎深度はBM-3cmになるのに対して、遺物包含層はBM-37cm以下に存在する。30cm以上の遺跡保護層の確保が可能であるため、文化財保護法第93条第1項の届出と共に副申を進呈し、遺跡保護層に関する協定書を事業者と締結した。静岡県教育委員会からは6月15日に指示通知(立会調査)があり、事業者に指示通知を伝達した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置とトレンチ南壁断面図(1/1,200・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ-B-6 鶴喰広田遺跡 第11地点

所在地 三島市八反畠地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 12.0m² (349.77m²)
 調査の期間 平成28年6月2日
 調査の原因 共同住宅建設に伴う確認調�ущ

遺跡の位置 三島市遺跡地図No.428 鶴喰広田遺跡
 は、三島駅の南南東 (N-152.5°-E) 3.21km、御殿川右岸の微高地上に位置し、標高約15.9mを測る。

【緯度35度06分1.36秒・経度138度55分40.53秒】

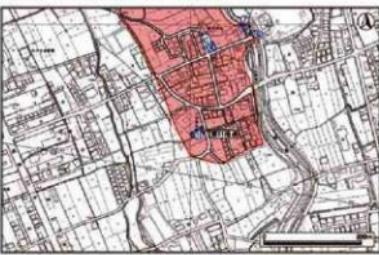
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを3箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約3.43%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を排除した後、作業員4名の手掘りによる堆土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.69mまで堀り下げを行った。事業地付近の基盤層となる硬砂層を確認したが、全てのトレンチで遺構と遺物は出土しなかった。層序の確認は3トレンチの東壁断面で行い5層に分層した。1層は駐車場路盤の碎石層、2層は碎石を含む盛り土層、3層は灰茶褐色の旧水田耕作土、4層は黄褐色の旧水田床土、5層は事業地付近の基盤層となる細砂層で3~5層には鉄分の沈着が顕著に見られる。調査地点では遺物包含層となる土層の堆積が全く認められなかったが、道路を挟んだ「南東側の土地から土器が出土した事がある」という地元の証言もあり、付近に遺跡が存在する事を推定できる。

遺構と遺物 遺構なし、遺物なし

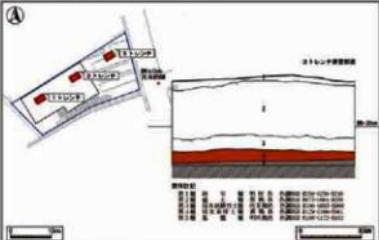
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域、あるいは後世の地形変更による遺跡の消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年6月17日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/10,000)



第3図 トレンチ配置と3トレンチ東壁断面図 (1/1,200-1/40)



写真 調査状況

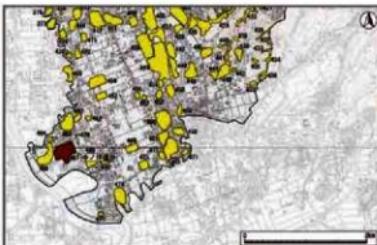
埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ-B-7 中ノ坪遺跡 HAKANOTSUBO
 第12地点

所在地 三島市長伏地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 12.0m² (515.52m²)
 調査の期間 平成28年7月22日
 調査の原因 宅地造成工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.467 中ノ坪遺跡は、
 三島駅の南 (N-179.0°-E) 4.37km、狩野川と境
 川の合流点東側の後背湿地に位置し、標高約9.8
 mを測る。

【緯度35度05分12.41秒・経度138度54分45.30秒】
 調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して
 行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを3
 箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約
 2.33%であった。調査は重機(01)によって無遺
 物層を排除した後、作業員3名の手掘りによる排
 土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.43mまで
 掘り下げを行った。調査範囲全体で土層の堆積を
 3層に分層し、2トレンチ北壁で土層の観察を行
 った。1層は暗灰色の水田耕作土、2層は灰色の
 耕作土床土で、いずれも植物根に由来する鉄分の
 沈着が顕著に認められたが、両層共に遺物は全く
 出土しなかった。3層は暗灰色の硬質砂層で、こ
 の地域の基盤層となる沖積堆積層である。3層上
 面で遺構の検出に努めたが、遺構を確認する事は
 できなかった。また、この地域で遺物包含層とな
 る黒色粘質土は全てのトレンチで存在しなかった。

遺構と遺物 遺構なし、遺物なし

調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中
 の空白域、あるいは後世の地形改変による遺跡の
 消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はな
 く工事立会いが妥当であると考え、文化財保護法
 第93条第1項の届出と共に立会調査の副本を進達
 した。静岡県教育委員会からは平成28年8月5日
 付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実
 施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)

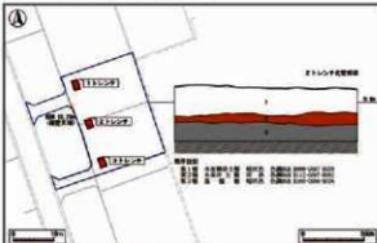
第3図 トレンチ配置と
 2トレンチ北壁断面図(1/1,200・1/40)

写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ B 8 谷田前田遺跡 YATAMAE DA 地点 第7地点

所在地 三島市谷田字城ノ内地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 21.0m² (1,020m²)
 調査の期間 平成28年8月4日
 調査の原因 宅地造成工事に伴う確認調査

遺跡の位置 三島市遺跡地図No.358 谷田前田遺跡
 は、三島駅の東南東 (N-122.0°-E) 1.91km、大場川左岸の微高地上に位置し、標高約20.0mを測る。

【緯度35度07分0.61秒・経度138度55分45.88秒】

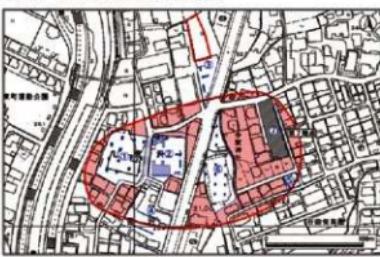
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.2m×3.5mのトレンチを5箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.06%であった。事業地は大規模な盛り土によって平坦面を作った駐車場で、旧地形の形状を残す東側の道路と比べて北端で0.2m、南端で1.0m嵩上げしている。宅地造成にあたり、道路後退する部分の盛り土層を除去した後に、重機(01)による無遺物の除去後、作業員4名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大1.48mまで掘り下げを行った。層序の確認は1トレンチ北壁で行い4層に分層した。1層は駐車場造成時の盛り土層で、既に駐車場から道路面までの盛り土層を除去している事を考慮すると、厚さは0.6m~1.6mに達すると推定できる。2層は旧水田の耕作土、3層は黒灰色の粘質土、4層は基盤となる灰褐色の砂層である。過去の調査例から3層が遺物包含層になると推測できるが、5箇所全てのトレンチで造構と遺物を確認する事ができなかった。

造構と遺物 造構 なし、遺物 なし

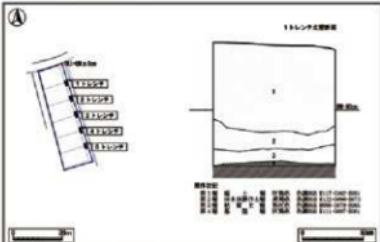
調査の成果 市段階の判断では遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく、事業実施には何ら問題が無い事を調査結果概要で事業者及び県教育委員会に報告した。文化財保護法第93条第1項の届出は、造成計画図の未完成を理由に未提出である。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と
 1トレンチ北壁断面図 (1/3,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ⑨ 伊勢堰遺跡 ISESEGI 第18地点

所在地 三島市梅名地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 16.0m² (791.28m²)
 調査の期間 平成28年8月12日
 調査の原因 宅地造成工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡図No.460 伊勢堰遺跡は、

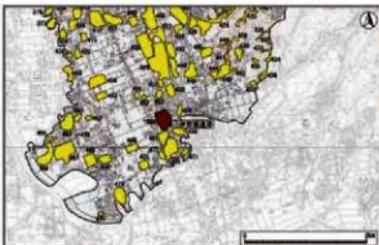
三島駅の南南東(N-154.5°-E) 4.32km、御殿川右岸の微高地上に位置し、標高約12.0mを測る。

【緯度35度05分27.75秒・経度138度55分56.27秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを4箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.02%であった。調査は重機(OI)によって盛り土層と耕作土を排除した後、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、最大で地表下1.04mまで掘り下げを行った。層序の確認は2トレンチ西壁断面で行い、8層に分層した。1層は砂礫を主体とする盛り土層、2層と3層は耕作土、4層は黒灰褐色の粘質土、5層は黄褐色の粘質土を含む砂礫層、6層はこの地域の基盤となる黒褐色の砂礫層である。4層が遺物包含層となる可能性があるが、遺物は出土せず、基盤となる6層上面でも遺構を確認する事ができなかった。また8層から江戸時代末期から明治時代の陶磁器が出土し、発掘調査の対象にならない新しい時代の掘り込みである事が判明した。

遺構と遺物 遺構なし、遺物なし

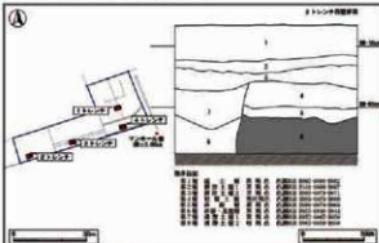
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域、あるいは後世の地形改変による遺跡の消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当であると考え、文化財保護法第93条第1項の届出と併に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年9月7日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配図と2トレンチ西壁断面図(1/2,000 - 1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
**Ⅱ E ⑩ 堀込遺跡 Horigome
第11地点**

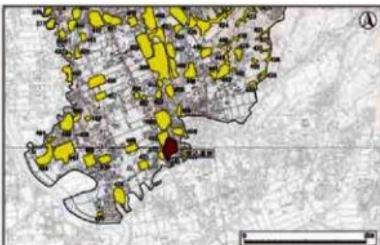
所在地 三島市安久地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 8.0m² (231.64m²)
 調査の期間 平成28年11月25日
 調査の原因 個人住宅建設に伴う確認調柶

遺跡の位置 三島市遺跡地図Na465 堀込遺跡は、三島駅の南東側 (N=157.0°-E) 4.79km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高約11.4mを測る。

【緯度35度05分11.12秒・経度138度55分56.25秒】
 調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを2箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約3.45%であった。調査は重機(01)によって耕作土を排除した後、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.77mまで掘り下げを行った。事業地付近の基盤層となる硬砂層を確認したが、遺構と遺物は出土しなかった。
 2トレンチの東壁断面で層序の確認を行い、5層に分層した。1層は褐色の耕作土、2層は少量の鉄分の沈着がみられる黄褐色の耕作土床土である。3層は暗灰褐色、4層は黒灰褐色のグライ化した腐植土で、特に4層は水分を多く含み徐々に浸水する事から地下水位が高いことが窺える。5層は事業地付近の基盤層となる固く締った灰褐色の細砂層で、斑状に鉄分を含み、南側に向かって標高を減じていく。

遺構と遺物 遺構なし、遺物なし

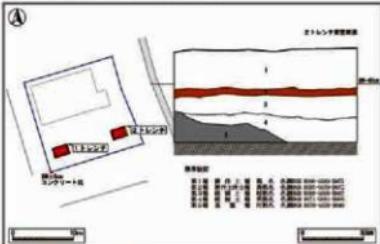
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域(湿地)と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査調査の副本を進呈した。静岡県教育委員会からは平成28年12月9日付で指示通知(立会調柶)があり、事業者に指示通知書を伝達した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と2トレンチ東壁断面図 (1/800 - 1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ(B)① 堀込遺跡
 Horigome
 第12地点

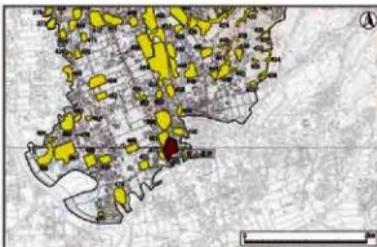
所在地 三島市安久地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 江眞人
 調査の面積 4.0m² (190.66m²)
 調査の期間 平成28年11月29日
 調査の原因 個人住宅建設に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.465 堀込遺跡は、三島駅の南南東 (N-156.5°-E) 4.64km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高約11.5mを測る。

【緯度35度05分15.63秒・経度138度55分55.08秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.10%であった。調査は重機(OI)によって盛り土層を排除した後、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.93mまで掘り下げを行ったが、遺構と遺物は出土しなかった。トレンチの北壁断面で層序の確認を行い、5層に分層した。1層は灰色の駐車場碎石層、2層は3層と4層の混土層で、空隙性に富む粗い堆積である事から近年の擾乱層と推定できる。3層は明灰褐色の盛り土層でローム質土を少量含む。4層は灰褐色の粘質土で旧水田の耕作土である。少量の鉄分を含むが、5層との境目には特に多くの鉄分が沈着していた。5層は事業地付近の基盤層となる灰褐色の細砂層で、斑状に少量の鉄分を含む。本層上面で遺構の確認をし、更に15cmの掘り下げを行ったが、遺構も遺物も出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

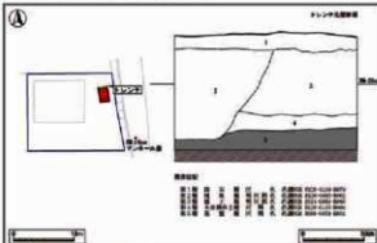
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年12月9日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置とトレンチ北壁断面図(1/900 - 1/40)



写真 調査状況

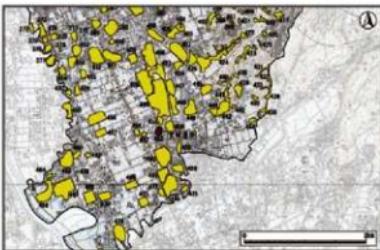
埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ B ⑫ 宮城遺跡 第2地点

所在地 三島市梅名地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 4.0m² (150.0m²)
 調査の期間 平成28年12月7日
 調査の原因 個人住宅建設に伴う確認調柗
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.452 宮城遺跡は、三島駅の南東南 (N=154.0°-E) 3.93km、御殿川右岸の微高地上に位置し、標高約13.0mを測る。

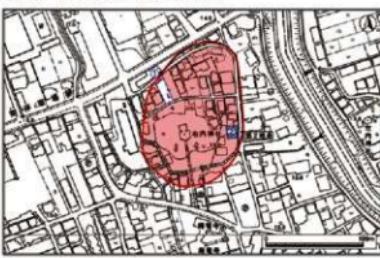
【緯度35度05分39.49秒・経度138度55分50.65秒】
 調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.67%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を排除した後、作業員3名の手掘りによる堆土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.92mまで掘り下げを行ったが、遺構と遺物は出土しなかった。トレンチの北壁断面で層序の確認を行い、4層に分層した。1層は非常に硬く締まった明褐色の盛り土層で、拳大の角礫と小石を多く含む駐車場碎石層である。2層は砂礫質の明灰褐色の盛り土層、3層は2層に鉄分の沈着した明茶褐色土、4層は腐敗臭を伴う黒灰色の粘土質腐植土層であった。断面図を作成後、トレンチの北西隅を更に50cm掘り下げたが、事業地付近の基盤層となる砂層に到達せず、また湧水がみられた為、それ以上の掘り下げを断念した。その後の聞き取り調査から当該地付近は湿地帯であったと考えられる。

遺構と遺物 遺構なし、遺物なし

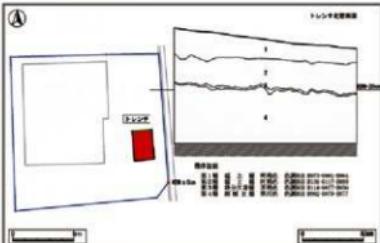
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査調査の届申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年12月13日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置とトレンチ北壁断面図 (1/400 - 1/40)



写真 調査状況

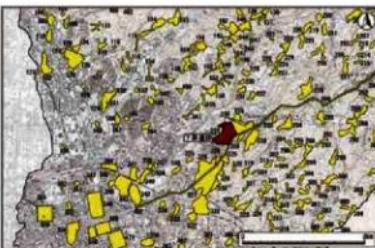
埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ-E⑬ 下原遺跡 SHIMOKAWA 第9地点

所在地 三島市塙原新田字北原地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 達眞人
 調査の面積 24.0m² (2,100.00m²)
 調査の期間 平成28年12月20日～12月28日
 調査の原因 宅地造成計画に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.237 下原遺跡は、三島駅の東北東 (N-73.0°-E) 3.00km、箱根山西麓の尾根上に位置し、標高約132.0mを測る。

【緯度35度08分1.88秒・経度138度56分35.36秒】
 調査の概要 調査方法はトレント調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレントを6箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約1.14%であった。調査は重機(01・02)によって耕作土と天地返し層をを排除した後、作業員延べ29名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大1.64mまで掘り下げを行った。6トレントの北壁断面で層序の確認を行い、10層に分層した。1層は耕作土、2層は天地返し層で、特に3～5トレントでは最大1.42mに及ぶ天地返しを観察する事ができた。3層以下は水平堆積を示す標準土層で、3層は漸移層、4層は休場層上層、5層は休場層中層、6層は休場層下層に相当する。休場層中のスコリア層は未発達で観察できなかつた。7層は第0黒色帯、8層は第1スコリア層、9層は第1黒色帯、10層はニセローム層である。大規模な天地返しが耕作地の大部分に及んでおり、耕作土、標準土層のいずれからも遺構と遺物は出土しなかつた。

遺構と遺物 遺構なし、遺物なし

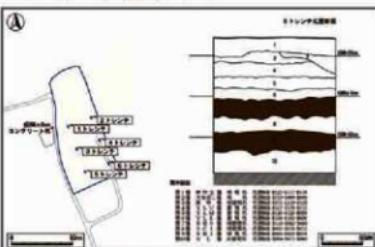
調査の成果 事業地は遺跡範囲中の空白域と理解したので、事業実施には何ら問題が無い事を事業者及び県教育委員会に調査結果概要で報告した。宅地造成は計画段階であるため、文化財保護法第93条第1項の提出を待っている。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/10,000)



第3図 トレント配置と6トレント北壁断面図 (1/4,000 - 1/60)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)

II-B-14 上才塚遺跡

KAMISADUKA
第14地点

所在地 三島市東町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 8.0m² (242.34m²)
 調査の期間 平成29年1月18日
 調査の原因 個人住宅建設に伴う確認調柗

遺跡の位置 三島市遺跡地図No.477 上才塚遺跡は、三島駅の南東(N-139.0°-E) 1.53km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高約21.7mを測る。

【緯度35度06分56.40秒・経度138度55分21.49秒】

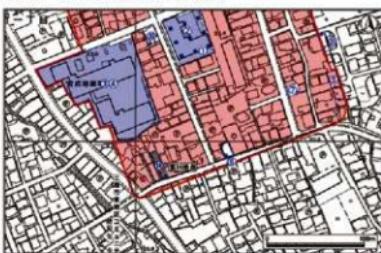
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを2箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約3.30%であった。調査は重機(01)による無遺物層の除去と、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.65mまで掘り下げを行った。安定的な堆積を示す2トレンチ東壁で層序の確認を行い、5層に分層した。1層はコンクリートブロック等を含む暗灰色の盛り土層、2層は暗灰色の水田耕作土、3層は鉄分の沈着が著しい赤褐色の水田床土、4層は砂礫混じりの暗灰色土である。周辺の調査では本層が奈良時代以降の遺物包含層となるが、遺物は出土しなかった。5層は基盤層となる明灰褐色の砂礫層で鉄分の沈着が斑状に見られる。5層上面を遺構確認面として丁寧な平面確認を行ったが、全てのトレンチで遺構を確認する事はできなかった。

遺構と遺物 遺構なし、遺物なし

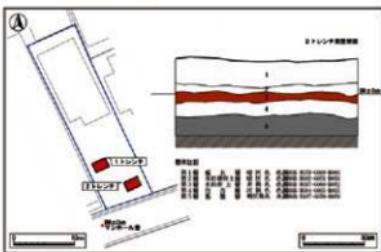
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域、あるいは遺跡消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査の副本を進呈した。静岡県教育委員会からは平成29年1月26日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と2トレンチ東壁断面図(1/800・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II-E⑯ 伊豆国分寺跡 IZUKOKUBUNJI 第14地点

所在地 三島市泉町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 達眞人
 調査の面積 4.4m² (82.81m²)
 調査の期間 平成29年1月24日
 調査の原因 個人住宅建設に伴う確認調柗
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.356 伊豆国分寺跡は、三島駅の南南西 (N-168.0°-W) 0.67km、標高28.7m前後に位置する。調査地点は伊豆国分寺推定範囲の南西部、塔跡の東側に位置する。

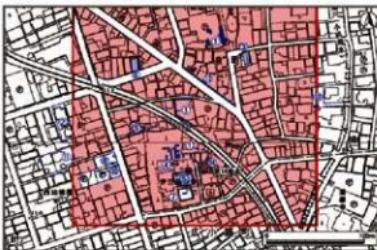
【緯度35度07分12.73秒・経度138度54分36.57秒】
 調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.1m×4.0mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約5.31%であった。調査は重機(01)による無遺物層の除去と、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.86mまで掘り下げを行った。トレンチ南壁の東端で層序の確認を行い、5層に分層した。1層と2層は暗褐色の整地層でコンクリート片や近代の陶磁器、古代の瓦が少量出土した。3層は暗褐色の旧表土。4層は造構の覆土で径3cm以下の5層の砂質土を少量含むが遺物は出土しなかった。5層は基盤層(層状地堆積層)に該当する砂質土であった。本層上面で造構の確認に努め土坑1基を確認したが、用途を明らかにする事はできなかった。

造構と遺物 造構 土坑、遺物 古代の瓦

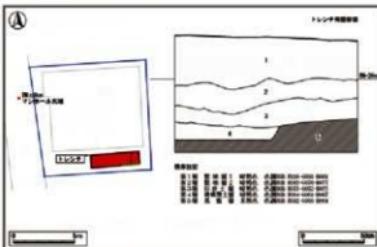
調査の成果 事業地の一部に遺跡が存在する事が確実となったが、造構確認面までの深度がGL-72cmに対して計画建物の基礎底部はGL-35cmのため、遺跡の保護層を確保する事が可能である。協定書の締結後に工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成29年2月6日の指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置とトレンチ南壁断面図 (1/400・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)

II B 16

下原遺跡SHIMONADA
第10地点

所在地 三島市塚原新田地先

調査主体者 三島市教育委員会

調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人

調査の面積 20.0m² (2,138.00m²)

調査の期間 平成29年2月10日～2月18日

調査の原因 宅地造成計画に伴う確認調査

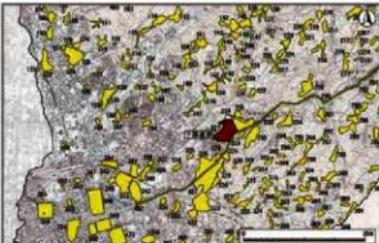
遺跡の位置 三島市遺跡地図No.237 下原遺跡は、三島駅の東北東 (N-73.0°-E) 2.92km、箱根山西麓の尾根上に位置し、標高約132.0mを測る。

【緯度35度08分1.58秒・経度138度56分33.33秒】

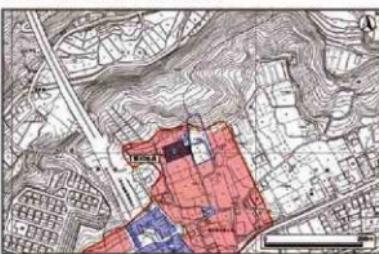
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを5箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約0.94%であった。重機（02）によって耕作土と天地返し層を排除した後に、作業員延べ31名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大1.65mまで掘り下げを行った。土層の残存状態は堆積状況と天地返しの深度によってトレンチ間で相違があり、第2・5トレンチは天地返しにより、第1スコリア層以上の大半が消失していたが、第3トレンチは黒土層、第4トレンチは漸移層以下が残存していた。第1トレンチの北壁断面で層位の確認を行い、8層に分層した。1層は耕作土、2層は天地返し層、3層は休場層、4層は第0黒色帶、5層は第Iスコリア層、6層は第I黒色帶、7層はニセローム層、8層は第II黒色帶であった。また第3トレンチの黒色土から微細な縄文土器と小礫が合計14点出土したが、直ちに発掘調査が必要との結論には至らなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 縄文土器・礫

調査の成果 調査の結果、第3トレンチ周辺に散漫な遺物の分布が認められたが、今後継続する確認調査結果を総合して発掘調査の可否を判断する必要があると考えた。事業者及び県教育委員会に調査結果概要を報告し、文化財保護法第93条第1項の提出を待っている。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/10,000)

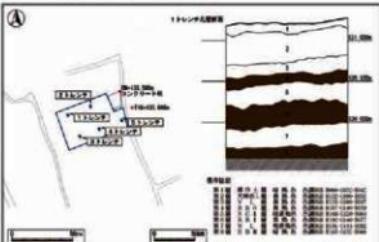
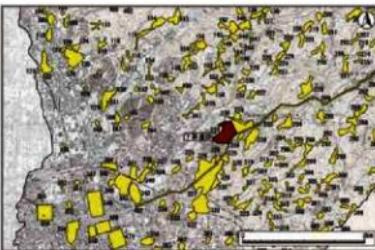
第3図 トレンチ配置と
1トレンチ北壁断面図 (1/4,000 - 1/60)

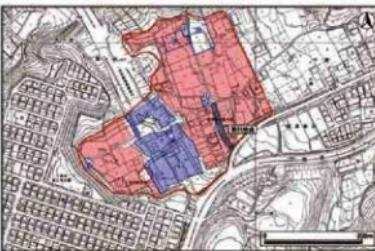
写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ(B)① 下原遺跡 SHINOMARA
 第11地点

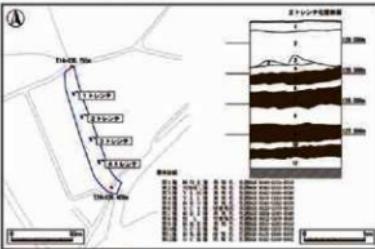
所 在 地 三島市塙原新田地先
調査主体者 三島市教育委員会
調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
調査の面積 16.0m² (1,854.00m²)
調査の期間 平成29年3月3日～3月16日
調査の原因 宅地造成計画に伴う確認調査
遺跡の位置 三島市遺跡地図No.237 下原遺跡は、三島駅の東北東(N-76.0°-E) 2.98km、箱根山西麓の尾根上に位置し、標高約128.5mを測る。
【緯度35度07分56.37秒・経度138度56分36.97秒】
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを4箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は0.86%であった。調査は重機(01)によって耕作土と天地返し層を排除した後に、作業員の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、現地表面化1.60mまで掘り下げる、北壁で土層断面図を作成した。更に重機(02)を用いて周囲を掘り広げ、再度作業員の手掘りにより、SCⅢ層まで堀り下げる実施した。最終的に作業員延べ40名で表土下最大2.49mまで掘り下げる、最も休場層の残存状態の良い第2トレンチの北壁断面で層序の確認を行い、12層に分層した。1層は耕作土、2層は天地返し層である。天地返しは現地表面下65～90cmまで達し、第2トレンチ以外では休場層中層以上は消滅していた。3層の休場層中層以下、12層の第Ⅲスコリア帯まで基本層序の安定的な堆積を観察したが、遺構と遺物は出土しなかった。
遺構と遺物 遺構なし、遺物なし
調査の成果 市段階の判断では遺跡範囲中の空白域、あるいは遺跡消滅地と理解したので、事業実施には何ら問題が無い事を事業者及び県教育委員会に調査結果概要で報告した。宅地造成は計画段階であるため、文化財保護法第93条第1項の提出を待っている。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/10,000)



第3図 トレンチ配置と2トレンチ北壁断面図(1/4,000 - 1/80)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 被覆剥離(外部組織)
II C I 拈子地遺跡 SHAOJI 第3地点

所在地 三島市平田地先
 調査主体者 静岡県教育委員会
 調査担当者 文化財保護課 主査 岩名建太郎
 調査の面積 12m² (三島市側調査分)
 調査の期間 平成28年12月21日
 調査の原因 境川防災事業に伴う試掘・確認調柶
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.416捺子地遺跡は、
 三島駅の南(N-176.0°-E)2.60km、境川下流蛇行帯の左(東)岸側微高地上に位置する。今回の
 調査対象範囲は、遺跡登録範囲の中央から北西部
 (三島市平田)と境川旧河道右岸側隣接地(清水
 町久米田)に当たり、標高は13m前後を測る。
 【緯度35度06分12.33秒・経度138度54分45.75秒】
 調査の概要 今回の調柶は、流路変更工事重複箇所
 の遺跡分布範囲・内容確認を目的として実施した。
 三島市側調柶範囲には、当初2m四方の試掘坑を
 2箇所設定したが、遺跡中央部設定の試掘坑につ
 いては、埋没していた旧河道の存在が把握された
 ため、その広がりを追い、南側に2mの拡幅を行
 った。最深地表下1.92mまで遺構・遺物の確認に
 努め、旧河道は、東西方向に走ることが判明した。
 なお、覆土上位で平安時代に比定される灰釉陶器
 細片が1点出土している。

北西部設定試掘坑では、沖積地で特長的なシル
 ト質粘土の自然堆積が確認されたのみで、遺構・
 遺物は、検出されなかった。

遺構と遺物 遺構なし 遺物 土器

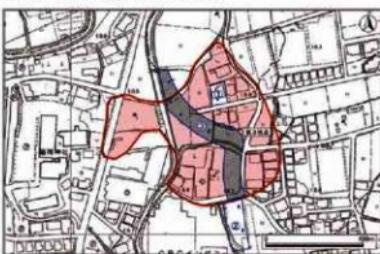
調柶の成果 以上により、当該箇所の埋蔵文化財の
 分布は希薄であると判断される。



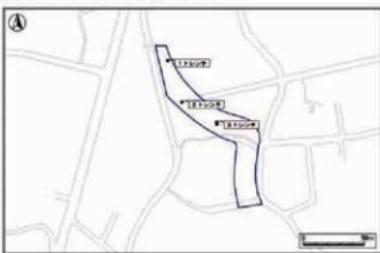
写真 調柶状況



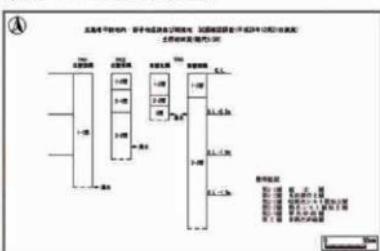
第1図 調柶遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調柶地点の位置(1/5,000)



第3図 トレーンチ配置図(1/4,000)



第4図 トレーンチ土層柱状図(1/60)



市内遺跡整理調査事業

市内遺跡整理調査事業は、国・県補助金、市一般財源により調査された個人住宅建設や各種開発に伴う試掘・確認調査、過去の未報告遺跡、市内各所に保存されている考古資料について遺物整理作業を実施して報告書を刊行し、埋蔵文化財の記録保存を図る事業である。本事業は平成元年度から開始され、これまでに21冊の報告書を刊行した。平成28年度は、平成2~15年に国指定史跡山中城跡の現状変更に伴う発掘調査のまとめと、事業者の負担で確認調査を平成25年度に実施した5遺跡を収録した「三島市埋蔵文化財発掘調査報告 XXI」と、補助金を利用して確認調査を平成25年度に実施した18遺跡と平成26年度に実施した20遺跡を収録した「三島市埋蔵文化財発掘調査報告 助事業版第2号」を刊行した。

第1表 「三島市埋蔵文化財発掘調査報告 XXI」所取遺跡とその内容

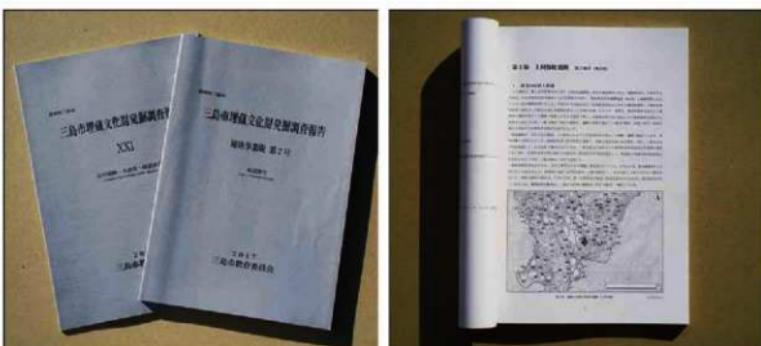
章	所取遺跡名	時代	主な遺構	特記事項
第1章 山中城跡	山中城跡	中世	堀跡	
第2章 本調査 (平成25年度)	多呂ノ前遺跡 第6地点	弥生時代	溝状遺構・土坑・柱穴	
第3章 確認調査 (平成25年度)	中ノ坪遺跡 第10地点 箱根田遺跡 第7地点 御園川遺跡 第5地点 下久保遺跡 第2地点			遺跡空白域 遺跡消失域 遺跡空白域 遺跡消失域

第2表 「三島市埋蔵文化財発掘調査報告 助事業版 第2号」所取遺跡とその内容①

章	所取遺跡名	時代	主な遺構	特記事項
第1章 確認調査 (平成25年度)	弥陀遺跡 第3地点	奈良～平安		遺跡空白域
	初音ヶ原B遺跡 第16地点	旧石器～繩文		保護協定締結
	壱町田遺跡 第3地点	弥生～中世		遺跡空白域
	西遺跡 第6地点	弥生～古墳		保護協定締結
	堀込遺跡 第6地点	古墳～中世		遺跡空白域
	上才塚遺跡 第7地点	奈良～近世		遺跡消失域
	下久保遺跡 第3地点	弥生～中世		遺跡範囲外
	安久奥屋敷遺跡 第3地点	弥生～近世		遺跡空白域
	塔ノ森庵寺 第8地点	古墳～近世		遺跡空白域
	三島代官所跡 第4地点	奈良～近世		遺跡消失域
	伊勢堰遺跡 第14地点	古墳～近世		遺跡空白域
	伊豆国分寺跡 第11地点	奈良～近世		遺跡空白域
	向山古墳群 第18地点	古墳時代		墳丘・周溝
	伊勢堰遺跡 第15地点	古墳～古代		遺跡空白域

第3表 「三島市埋蔵文化財発掘調査報告 補助事業版 第2号」所収遺跡とその内容②

章	所収遺跡名	時代	主な遺構	特記事項
第1章 確認調査 (平成25年度)	長伏遺跡 第6地点	弥生時代		遺跡空白域
	元町田遺跡 第2地点	古墳～古代		遺跡空白域
	塚原初音原遺跡 第3地点	旧石器～縄文		調査中断
	塚原初音原遺跡 第4地点	旧石器～縄文		遺跡空白域
第2章 確認調査 (平成26年度)	塚原初音原遺跡 第3地点	旧石器～縄文		遺跡空白域
	堀込遺跡 第7地点	古墳～中世		遺跡空白域
	三島御殿跡 第8地点	弥生～古墳 平安・近世		遺跡空白域
	青木原遺跡 第9地点	弥生～古代・中世		遺跡空白域
	千枚原A遺跡 第5地点	縄文～古墳		遺跡空白域
	篠原後B遺跡 第2地点	旧石器～縄文・平安時代		遺跡空白域
	平田A遺跡 第3地点	古墳～古代		遺跡空白域
	台崎E遺跡 第1地点	旧石器～縄文		遺跡空白域
	向山D遺跡 第1地点	縄文～古墳		遺跡空白域
	富田町遺跡 第3地点	古墳～古代		遺跡空白域
	篠原後E遺跡 第2地点	旧石器～縄文・古墳時代		遺跡空白域
	篠原後C遺跡 第4地点	旧石器～縄文・古墳時代		遺跡空白域
	塔ノ森庵寺 第9地点	古墳～近世		遺跡空白域
	篠原後F遺跡 第4地点	旧石器～縄文		遺跡空白域
	上才塚遺跡 第8地点	奈良～近世		遺跡空白域
	寺屋敷遺跡 第1地点	縄文時代		遺跡空白域
	堀込遺跡 第8地点	古墳～中世		遺跡空白域
	下ノ屋遺跡 第1地点	古墳～近世		遺跡空白域
	上才塚遺跡 第9地点	奈良～近世		遺跡空白域
	向山古墳群 第19地点	古墳	墳丘・周溝	墳丘形状確定





推定平安・鎌倉古道と箱根旧街道

平安鎌倉古道は、延暦21年（802）に起こった富士山の噴火により塞がってしまった從来の足柄路の代わりに開かれ、平安から室町時代まで盛んに利用された箱根峠越えの山道である。この道は三鷹大社から北へ向かい、願成寺、小沢、元山中を通って海の平から湖畔に出るルートをとる。元山中遺跡等の道路遺構からかつての面影を窺うことができる。

箱根旧街道は、江戸幕府により整備された東海道の一部であり、三島宿から箱根峠を上り、小田原宿まで下る八里（約32km）の山道である。このうち三鷹大社から箱根峠までの約12kmの区間は西坂とも呼ばれる。当初この街道には滑り止めとして箱根竹が敷かれていたが、延宝8年（1680）に坂に石を敷くという大工事が行われた。三島市は平成6～9年度にかけて、この石敷きの道を発掘調査し、復元整備を実施した。なお、一里塚の設置とともに街道沿いに松並木が整備されたのは慶長9年（1604）前後のことと考えられる。今から約400年前のことであるが、現在も市内初音地区の国道沿いの約0.9kmに当時の松並木の趣を残す。

箱根旧街道は、既に国指定されていた錦田一里塚の統合なども含め、平成16年10月18日に三島市・雨雲町・箱根町の1市2町合同で新たに国史跡に指定されている。市では、箱根旧街道や推定平安鎌倉古道の保存とハイカーの利便を図るために、下刈りを地元自治会に委託して保護保存に努めている。また、松並木は補植の松を含め約360本を数えるが、貴重な文化財として、国道を走る自動車の排気ガスやマツ毛虫等の害虫から守るため、コモ巻きや薬剤注入など様々な対策を講じている。

推定平安鎌倉古道下刈り ①

実施区間は、広域基幹林道北箱根山線から芦ノ湖高原別荘地までの3.2kmである。実施時期は、平成28年5月17日～10月30日の間に2回行い、事業費は170,000円である。

箱根旧街道下刈り ②～⑧

実施区間は、山中新田の②願成寺地区・③腰巻地区・④浅間平地区・⑤上長坂地区と、笠原新田の⑥下長坂地区、市山新田の⑦題目坂地区・⑧臼転坂地区である。実施時期は、平成28年5月17日～10月30日の間に2回行い、事業費は320,000円である。

箱根松並木維持管理 ⑨

実施区間は、川原ヶ谷地先の松並木敷（片道延長約900m）である。契約期間は、平成28年5月26日～平成29年3月10日で、業務内容は石畳遊歩道及び並木敷きの清掃（4回）、側溝清掃（4回）、植栽帯の刈込



み及び葉剤散布、並木敷の下刈り（3回）である。事業費は2,160,000円である。

松並木コモ巻き ⑨

コモ巻きは、幹径350mm以上の松のうち190本に平成28年11月7日（立冬）に行い、コモ外しは平成29年3月5日（啓蟄）に実施した。契約期間は、平成28年9月30日～平成29年3月18日で、事業費は380,000円である。

松並木薬剤注入 ⑨

薬剤注入は、胸高直径350mm以上450mm未満の松のうち55本を対象に、平成28年2月24日にグリンガードエイトを287本注入した。厳寒期に実施する必要があるため、契約期間は平成29年1月25日～3月17日で、事業費は1,161,000円である。

初音松並木枯松伐採 ⑨

国指定史跡箱根旧街道内の松並木において、枯松の倒木による交通事故防止と松の樹勢回復を促進するため、平成28年10月27日、松の伐採と枝切りを実施した。契約期間は、平成28年9月29日～10月31日で、事業費は201,960円である。

箱根松並木薬剤散布（緊急） ⑨

国指定史跡箱根旧街道内の松並木においてマツ毛虫（マツカレハの幼虫）が異常発生したため、平成28年6月27日・7月19日の早朝に2度に亘る緊急薬剤散布を行った。1度目の契約期間は平成28年5月31日～7月15日で、事業費は302,400円である。追加で行った2度目の契約期間は平成28年7月8日～8月12日で、事業費は399,600円である。



コモ巻き



ボランティア清掃



中学生の清掃活動



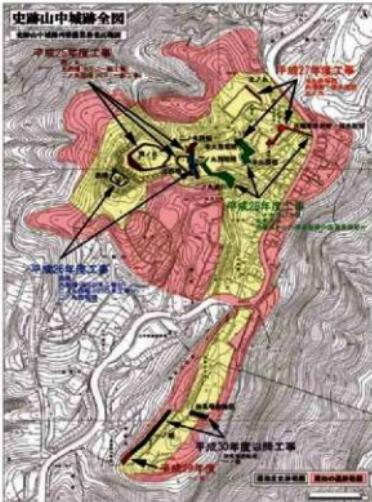
薬剤散布の様子

文化財保存管理
Ⅲ B 1
環境整備事業

史跡山中城跡整備事業

山中城は、戦国時代末期、後北条氏により箱根西麓の急峻な斜面に築かれた自然の要害に築城された山城である。昭和9年に国史跡に指定され、山中バイパス建設計画を機に、昭和48年から平成5年まで全面的に復元工事が行われた。三島市制40周年にあたる昭和56年に史跡公園として一般公開されて以降、障子堀、鉄柵などの築城術が実際に見学できる歴史学習の場として多くの人に親しまれてきたが、第1期整備時からの経年により、傾斜のきつい堀では土砂の崩壊が発生、木製施設や排水溝などの埋設物は老朽化が進むなど、整備の必要性が出てきた。

そこで、平成21・22年に「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」による改修事業(詳細は三島市文化財年報第23号に記載のとおり)が行われ、平成23年から同25年にかけては「重点分野雇用創造事業交付金」を利用して成長しすぎた樹木の伐採・剪定を実施した。また、「史跡山中城跡整備計画策定懇話会」の平成20年10月8日付最終答申を基本計画に、平成24年から30年までの7ヵ年計画で修復事業を実施している。平成24年度は、12地点について土塁・堀等の崩落状況を確認するために確認調査及び測量設計業務を実施し、それに伴い2回の再整備検討委員会を開催した。平成25年度は、西ノ丸物見台・土塁、元西櫓土塁の一部、二ノ丸西堀の一部の再整備工事と2回の再整備検討委員会、平成26年度には、西櫓土塁、元西櫓土塁の残りの範囲、二ノ丸西堀の残りの範囲、二ノ丸西堀橋の再整備工事と1回の再整備検討委員会、平成27年度は、本丸西堀、本丸西堀土塁の一部、兵糧庫体憩所、北ノ丸土塁の再整備工事と1回の再整備検討委員会、平成28年度は、二ノ丸虎口土塁、本丸西堀の再整備工事と1回の再整備検討委員会を開催した。



二ノ丸虎口土塁



本丸西堀

委員会及び協議会

IV A 1

三島市文化財保護審議委員会

昭和36年4月1日に施行された「三島市文化財保護条例」に基づき、三島市文化財保護審議委員会が同年12月に設置された。委員の定数は10名以内、学識経験者を教育委員会が委嘱し、任期は2年間である。教育委員会の諮問により、文化財の保存及び活用についての専門的及び技術的事項を調査審議するため設置されている。

また視察は、三島市郷土資料館運営協議会と合同で実施した。

活動内容

平成28年9月29日 第1回三島市文化財保護審議委員会

議事

(1) 指定文化財候補物件について（議事）

妙法華忠靈殿の千体仏

塙原新田の普門庵本尊・觀音菩薩坐像

白滝公園の小型溶岩塚（テュムラス）

若宮八幡神社の石灯籠（三島宿最古）

(2) 市指定文化財の修復補助金について（議事）

(3) 諸銀邸所蔵の板絵について（議事）

報告

(1) 平成28年度市指定文化財修復事業について（報告）

(2) 三島大社本殿防災施設補助事業について（報告）

(3) 歴史まちづくり、歴史的風致維持向上計画について（報告）

(4) 日本遺産について（報告）

平成28年12月14日 三島市文化財保護審議委員会視察

(1) ふじのくに地球環境史ミュージアム

(2) 静岡県埋蔵文化財センター

(3) 富士山かぐや姫ミュージアム

第29期委員氏名一覧

平成27年12月1日～

平成28年11月30日

委員長
鈴木勝彦（歴史）

副委員長
迫田信行（歴史）

委員
太田新之介（歴史）
佐藤孝子（美術・工芸・民俗）
鳥居靖（歴史）
魚尾孝久（国文学）
河内えり子（繪画）
廣瀬進（分子生物学・遺伝学）
増島淳（地質・自然）
寺田聰（考古学）



静岡県埋蔵文化財センターの視察



富士山かぐや姫ミュージアムの視察

委員会及び協議会



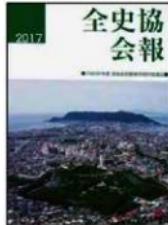
全国史跡整備市町村協議会及び東海地区協議会

目的及び経過

加盟市町村が協調して史跡等の整備に関する調査研究及びその具体的方策の推進を図り、もって文化財の保存と活用に資することを目的とする。

全国史跡整備市町村協議会は、昭和41年6月3日に設立、平成28年11月17日現在583市町村が加盟している。三島市の加盟は、昭和48年山中城跡公園整備の頃で、当初から理事を務めている。

全国史跡整備市町村協議会東海地区協議会は、平成10年2月4日設立、平成28年7月1日現在49市町が加盟している。三島市は、大垣市、明和町とともに発起人となり、設立準備の段階から加わり、現在、副会長を務めている。



平成28年度の活動

全国史跡整備市町村協議会

・第1回役員会	開催日：平成28年7月28日（木）	会 場：東京都千代田区 都市センターホテル
・担当部課長会議	開催日：平成28年8月31日（水）	会 場：東京都千代田区 都市センターホテル
・第2回役員会	開催日：平成28年10月5日（水）	会 場：北海道 南館国際ホテル
・大会	開催日：平成28年10月5日（水）	会 場：北海道 南館国際ホテル
	～7日（金）	
・第3回役員会	開催日：平成28年11月16日（水）	会 場：東京都千代田区 東海大学校友会館
・臨時大会	開催日：平成28年11月17日（木）	会 場：東京都千代田区 ホテルニューオータニ

全国史跡整備市町村協議会東海地区協議会

・第1回担当課長会議	開催日：平成28年7月29日（金）	会 場：愛知県名古屋市 名駅モリシタビル
・役員会	開催日：平成28年8月25日（木）	会 場：山梨県南アルプス市 桃源文化会館
・総会	開催日：平成28年8月25日（木）	会 場：山梨県南アルプス市 桃源文化会館
・臨時大会・陳情報告会	開催日：平成28年11月17日（木）	会 場：東京都千代田区 ホテルニューオータニ

文化財啓発活動



文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が火災により焼損したことから、毎年1月26日は「文化財防火デー」と定められている。貴重な文化財を火災や震災、その他の災害から守るために、この日を中心として全国各地で文化財防火運動が展開され、国民の文化財愛護意識の高揚が図られている。

当市でも、文化財を所有管理する団体が、消防署の協力を得て、初期消火や放水訓練を行うと共に消防設備の点検を実施した。

- ・実施施設：榮寿園
実施日：平成29年1月20日（金）
- ・実施施設：佐野美術館
実施日：平成29年2月6日（月）
- ・実施施設：三崎大社
実施日：平成29年1月26日（木）



文化財防火デー 三崎大社



歴史的風致維持向上事業

目的及び経過

平成20年11月、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称、歴史まちづくり法）」が制定され、平成29年3月現在、全国で62都市が認定を受けている。この法律は、国土交通省、文部科学省、農林水産省の3省にまたがるもので、地域における固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境の維持及び向上を図ることを目的とする。

三島市は、計画認定を目指し、平成27年4月から文化振興課・都市計画課・農政課が協力して、「三島市歴史的風致維持向上計画」を策定し、平成28年10月3日、国の認定を受け、全国で59番目、静岡県下では初の歴史的風致維持向上計画の認定都市となった。計画書では、「三嶋大社例大祭とつけ祭り」、「三島市の特徴的な地域信仰」、「市街地のせせらぎ」、「坂の集落の営み」の4つを歴史的風致と定め、これらの歴史的資源を積極的に活用した三島らしい街づくりを推進していく事とした。

三嶋大社例大祭とつけ祭りによる歴史的風致

三嶋大社例大祭とつけ祭り（三島大祭り）では、三嶋大社が執り行う諸神事と、しゃぎり・山車の引き回しや本殿・舞殿において行われる頼朝公行列などに代表される市民参加のつけ祭りが一体となって、三嶋大社社頭を中心とする市街地に良好な歴史的環境が残されている。

三島市の特徴的な地域信仰による歴史的風致

「やっさ餅」「吉田さん」「お天王さん」では、地域の氏神と人々が固く結びつき、集落内環境の安全確保のため実施されてきた地域信仰である。今なお地域の誇りや人々の繋がりを維持しており、各地域の氏神を中心に三島市固有の良好な歴史的環境が残されている。

市街地のせせらぎによる歴史的風致

富士山に降った雨が伏流水となり、三島市内で自噴してせせらぎとなる。この清らかな水の流れは、三島の人々の信仰心と深く関わり、水神を祀る社や祠、灯籠流し会場の白瀧公園などの建造物が残されており、良好な歴史的環境が残されている。

坂の集落の営みによる歴史的風致

箱根西麓にある五つの坂の集落では、各集落の氏神である神社において集落成立当時から続く祭礼や水神講などの活動が今なお続いている。また、中山城跡では地域の誇りとして、集落の人々により維持・管理活動が行われており、三島市固有の良好な歴史的風致が残されている。



坂の集落の水神講



三嶋大社社頭での山車競り合い

付編1. 国指定文化財一覧表

平成29年3月31日現在

登録番号	登録名	登録区分	登録年月日	登録地
1 国宝(工芸)	海螺手鏡	1具	三崎大社	大宮町 昭和20年11月21日 1
2 国宝(工芸)	短刀 銘瀬義長船人長光造	1口	佐野美術館	中田町 昭和20年02月19日 2
3 重要(工芸)	太刀 銘伊豆	1口	三崎大社	大宮町 明治45年02月08日 3
4 重要(工芸)	馬頭 信州國住伏御伊豆三崎大明神奉詳 佐野松代子貞成	1口	三崎大社	大宮町 大正09年04月15日 4
5 重要(工芸)	短刀 銘「三崎大明神住人不与之直治三卒 藤原友行」串1	1口	三崎大社	大宮町 明治44年04月17日 5
6 重要(工芸)	太刀 銘長光	1口	佐野美術館	中田町 昭和27年03月29日 7
7 重要(工芸)	短刀 銘光	1口	佐野美術館	中田町 昭和20年02月19日 9
8 重要(工芸)	刀 銘無正宗	1口	佐野美術館	中田町 昭和06年02月17日 10
9 重要(工芸)	刀 銘朱光弘(名物丹井邦) 本利(花押)	1口	佐野美術館	中田町 昭和29年03月20日 11
10 重要(工芸)	刀 金象嵌銅削前国豪光(名物大豪光) 本阿弥(花押)	1口	佐野美術館	中田町 昭和34年06月27日 12
11 重要(工芸)	秋草文加賀万葉 身首鎧当兵平作	1口	佐野美術館	中田町 昭和20年11月14日 13
12 重要(絵画)	細本著色山車人像	1幅	妙法寺	玉沢 大正08年08月05日 14
13 重要(絵画)	前半著色山車人像(妙法寺縁起)	1幅	妙法寺	玉沢 大正09年04月15日 15
14 重要(彫刻)	木造大日如來坐像	1躯	佐野美術館	中田町 昭和32年08月01日 16
15 重要(書跡)	注音書經(高橋英亮) 日蓮自註	10巻	妙法寺	玉沢 昭和27年07月19日 17
16 重要(書跡)	御抄 日蓮	5巻	妙法寺	玉沢 昭和22年07月19日 18
17 史 跡	山川城跡(898,183.00m)	1遺跡	三島市	山中新田 昭和09年01月22日 20
18 史 跡	伊豆國分寺跡	1遺跡	伊豆國分寺	昭和33年05月15日 21
19 天然記念物	三崎人社のトンモキサイ	1本	三崎大社	大宮町 昭和09年05月01日 22
20 天然記念物	栗園(小浜池:栗園植物)	-	三島市栗園寺	一番町 昭和29年10月20日 23
21 名 勝	栗園(小浜池:栗園)	-	三島市栗園寺	一番町 昭和29年03月20日 23
22 重要文書	勘定書教説心經(南顧家帳) 卷2	1巻	三崎大社	大宮町 平成06年06月28日 24
23 重要古文書	三崎人社大社主の邸家文書 卷2	592枚	三崎大社・美田部正巳	大宮町 平成06年06月28日 25
24 重要建造物	三崎大社本殿・幣殿・拝殿 *3	1棟	三崎大社	大宮町 平成12年05月26日 26
25 史 跡	勘根田街道(鶴田一里塚) *4	1遺跡	三島市	勘根町・三島市・大田町 昭和21年03月08日 27
26 重要工芸	木刀 銘行舟	1口	佐野美術館	中田町 昭和30年06月22日 28

※ 国指定重要工芸 文部省番号6及び8は、平成25年、所有者が市内に住む団体から市外へ在住団体と変更になった。

※1 国指定重要工芸 文部省番号5は、昭和23年4月28日認定、現在も所在不明。虚體品留。

※2 国指定重要書類 文部省番号24及び25は、平成6年6月28日付で昭和25年文部省令第4号で国指定文化財 管理番号4と5から国指定文化財 管理番号11から指定区分を変更した。

※3 国指定重要建造物 文部省番号26は、平成12年5月25日付で市町指定文化財 管理番号5から分離して指定区分を変更した。

※4 管理番号1970年(昭和55年)「鶴田一里塚」(大正11年03月08日指定)は、平成16年10月18日付けで「勘根田街道」に統合された。

※5 指定当時は天然、名勝を実施定件1件と記載していたところ、文化庁からの指示により平成28年度より2件に分割した。

付編2. 県指定文化財一覧表

平成29年3月31日現在

登録番号	登録名	登録区分	登録年月日	登録地
27 工芸	刀 振花司坂前人豪作垂点紙(花押) 天保2年仲秋(イフ) 初印	1口	跡木紀夫	一番町 昭和41年03月22日 1
28 絵画	誠香著色白毫自画像	1幅	龍澤寺	沢地 昭和45年06月02日 2
29 絵 画	栄進・華の間松の開祖圖 卷5	210面	三島市	一番町 昭和55年11月28日 3
30 典 著	慶應時語	1冊	日本大学国際関係学部	文教町 昭和62年03月18日 5
31 典 著	日本書紀卷第一に眞言	6巻6函	三崎大社	大宮町 昭和55年03月19日 6
32 天然記念物	斑鳩洞跡地の大カクシ	1本	勝跡洞跡神社	山中新田 昭和60年03月19日 7
33 天然記念物	御前神社のモッコツ	2本	御井井井	青木 昭和66年03月19日 8
34 彫影式掛	三崎大社のお田行幸仕着	-	三崎大社のお田行幸仕着	大宮町 昭和47年03月24日 9
35 無形民俗	三崎大社のお田行	-	三崎大社のお田行幸仕着	大宮町 昭和47年03月24日 9
36 史 跡	向谷古墳群(1 ~ 15号)((16号積加指定))	1遺跡	三島市	谷田・北沢 平成11年03月15日 12
37 工芸	刀 銘堅葉	1口	佐野美術館	中田町 昭和41年02月07日 13
38 絵 画	木造阿弥陀如來立像	1体	-	平成25年11月19日 14
39 1 美	三十六歌仙句碑額	12面	三崎大社	大宮町 平成22年03月13日 15

※ 書籍「桃林墨書き若松文経(源賴家集)」(昭和33年 4月14日指定)と古文書「三崎大社開基図(平成5年3月26日附定)」は、平成6年6月28日付で国指定重要文化財に指定された。なお、「三崎大社開基図」は、「三崎大社久田部家文書」592通の中に含まれている。

※5 市指定文化財 管理番号3は、市指定文化財 管理番号13から指定区分の変更を受けた。

※6 市指定文化財 管理番号10は、市指定文化財 管理番号9から指定区分の変更を受けた。

付編3. 市指定文化財一覧表

平成29年3月31日現在

登録番号	登録名	登録区分	登録年月日	登録地
40 考古資料	市ヶ原坂寺塔心臓	1巻	勝跡寺	大柱町 昭和41年02月07日 1
41 典 著	河内家所蔵 三崎替及び同版本並びに開闢文書	-	河合家・岡守歎(三島市土賀郡 利根)	中田町・一番町 昭和41年02月07日 2
42 1 美	龍澤寺堂宇内江長八郎繪工	-	龍澤寺	沢地 昭和41年02月07日 3
43 絵 画	小島満英美 三島宿原風解屏風	6枚1反	三島宿原用庫	笠井町 昭和41年02月07日 4

44	施 造 物	三輪大社 神殿、神門及びそれに属する彫刻等 3	2棟	三輪大社	大宮町	昭和41年02月07日	5
45	建 造 物	玉津磨法華寺塔廻	1棟	妙法華寺	玉沢	昭和41年02月07日	6
46	工芸	鐵部のうみう	1基	鏡口堂	南本町	昭和41年02月07日	7
47	天然記念物	愛染山躑躅の赤岩場	-	三島市	一番町	昭和41年02月07日	8
48	典 誌	秋山山荘所蔵 岩山當南古文書 草木立州志稿他 7	20枚 1巻	秋山家 (三島市郷土資料館)	安久・一一番町	昭和45年10月01日	10
49	古 文 書	櫛口堂所蔵 三島宿本陣跡碑史料	60巻	櫛口堂 (三島市郷土資料館)	南本町・一一番町	昭和45年02月14日	11
50	史 論	千枚原道跡	1遺跡	二島市	千枚原	昭和46年05月04日	12
51	建 造 物	樂寿園内楽寿館	1棟	三島市	一一番町	昭和49年11月30日	14
52	施 造 物	玉津磨法華寺の鐘樓	1棟	妙法華寺	玉沢	昭和54年10月01日	15
53	絵 画	東草子三画「月島の月」	1点	三島市郷土資料館	一一番町	昭和55年10月08日	16
54	版 制 作	金剛力士像 (阿形像、吽形像)	1対	妙法華寺	玉沢	昭和57年02月25日	18
55	工芸	三四郎人形	36点	野人祭地 (三島市郷土資料館)	一一番町	昭和58年01月05日	19
56	天然記念物	神明宮神社 社叢	境内	神明宮神社	御園	昭和60年11月11日	20
57	天然記念物	中の川シラカベ	1本	佐久喜春	中	昭和60年11月11日	22
58	丸記念物	銀成寺 タヌ	2本	銀成寺	川原ヶ谷	昭和60年11月11日	23
59	天然記念物	耳石神社 イタクイ	1本	耳石神社	幸原町	昭和60年11月11日	24
60	胆 制 作	光安寺 鎏歌り地藏	1巻	光安寺	日の出町	昭和62年03月19日	25
61	建 造 物	円明寺表門 (左側口本障戸門)	1棟	円明寺	芝本町	昭和63年01月21日	26
62	考古資料	光安寺鉢碑	1巻	光安寺	日の出町	平成02年03月06日	27
63	絵 画	御御前御装束絵	6点10面	三島市	一一番町	平成03年03月04日	28
64	考古資料	岡山市出土遺物 (鉄製品)	41点	二島市	中央町	平成03年03月04日	29
65	天 然 記 念 物	三嶋大社 社叢	境内	三嶋大社	大宮町	平成03年03月04日	30
66	考古資料	扇手芋	1点	二島市	中央町	平成04年06月01日	31
67	天然記念物	矢立の杉	1本	妙法華寺神社	中山町田	平成04年06月02日	32
68	絵 画	下田森画「明けけの富士」	1点	二島市	北田町	平成05年03月04日	33
69	絵 画	下田森画「小池池」	1点	三島市	北田町	平成05年03月04日	34
70	転 造 物	柄田彌助画「とひ手組」	1点	二島市	大宮町	平成07年03月04日	35
71	絵 画	赤本元一画「駕籠廻船」	1点	三島市	大宮町	平成07年03月01日	36
72	歴史資料	縫織機 (三島製)	3点	三島市郷土資料館・東小学校	一一番・東町	平成09年03月05日	37
73	歴史資料	『江州伊豆佐野村』船図	1点	運河	佐野	平成12年03月01日	38
74	古 文 書	後古文書	11巻附書簡	皆古明夫・三島市郷土資料館	相模原市・一一番町	平成14年03月01日	39
75	考古資料	柿浦田邊出土祭祀関係遺物	70点	三島市	中央町	平成15年05月05日	40
76	歴史資料	花島家資料	136点	二島市郷土資料館	一一番町	平成15年05月08日	41
77	建 造 物	經王山 祐妙法華寺觀音堂・中門・忠惠堂	6棟	妙法華寺	玉沢	平成15年05月08日	42
78	絵 画	岸井良吉画「農夫」	1点	三島市	大宮町	平成19年01月10日	43
79	典 誌	高木合意著「天正18年『足州羽賀藩中崎御御打水木標』外方文書」	436点	三島市郷土資料館	一一番町	平成21年10月15日	44
80	施 造 物	神霊寺御門	1椎	神霊寺	玉川	平成22年03月10日	45
81	絵 画	太沼貞丈画「「駕籠がロブドゥール幻想」	1点	三島市	大宮町	平成22年03月10日	46
82	絵 画	太沼貞丈画「魔性と私性 (ホボドゥール考) A・B」	2点	三島市	一一番町	平成22年03月10日	47
83	典 誌	接待茶開聞体文書	10点	三島市郷土資料館	一一番町	平成23年03月09日	48
84	歴史資料	接待茶開聞体文書大茶葉23点	4点	三島市郷土資料館	一一番町	平成23年03月09日	49
85	古 文 書	天正17年 正月 岩見荷吉書	1点	三島市郷土資料館	一一番町	平成23年03月06日	50
86	天然記念物	鍋池御詠游岩樹根	1	二島市	一一番町	平成26年10月09日	51

*3 文化財年報 文化財管理番号のうち「三島大社本殿、精殿、拝殿」は、平成17年5月25日付で国指定重要文化財に指定された。
 *4 文化財年報 文化財管理番号17号の「青木御飯坂神社の御飯坂飯坂」は、昭和47年4月26日付で国指定重要文化財に指定された。
 *5 文化財年報 文化財管理番号21号の「天然記念物「右内神社のハリギ」」(昭和60年11月11日指定)は、平成10年7月10日付で枯死したため指定解除された。
 *6 文化財年報 文化財管理番号22号の「銘木家のカシワ」は、平成17年4月19日付で「中のカシワ」に名称変更された。

付編4. 重要美術品一覧表

平成29年3月31日現在

番号	登録年月日	名称	種類及び形式	所在地	選定年代等
----	-------	----	--------	-----	-------

重要美術品とは、昭和8年5月1日に公布、施行された「重要美術品等保存に関する法律」に基づき認定されたものである。しかし昭和25年5月30日「文化財保護法」が交付され、前法は廢止となったが、「文化財保護法」則則において、認定されている物件については、同法は尚ほのみの間、なおその効力を有する」とされ、現在は、認定の取り消しなるか、重要文化財の指定 (格上げ指定) になるか、再調査の結果を待つ状態にある。

付編5. 登録有形文化財 (建造物) 一覧表

平成29年3月31日現在

番号	登録年月日	名称	種類及び形式	所在地	選定年代等
1	平成09年11月05日	津泉庵	木造平床造、瓦葺、建蔽面積324m ²	中田町1-43	昭和6年
2	平成12年12月21日	津泉庵表門	木造四脚門袖付、瓦葺	中田町1-43	昭和6年
3	平成12年10月08日	横舟家こみや	木造2階建、鉄筋、建蔽面積136m ²	大社町18-5	大正15年
4	平成18年10月18日	三嶋御廻船の館 (旧河合家住宅主屋)	木造平床建、瓦葺、建蔽面積218m ²	大宮町2-5-16	江戸末期
5	平成18年10月18日	柳樹院	木造2階建、附假屋。建蔽面積150m ²	一一番15-6	明治中期
6	平成18年10月18日	丸平商店表門	木造2階建、瓦葺、建蔽面積99m ²	中央町4-16	明治初期
7	平成18年10月18日	丸平商店主屋	土蔵造及び石造2階建、丸平、建築面積600m ²	中央町4-16	明治初期
8	平成19年05月15日	田島焉庭廻舎所亭	鉄筋コンクリート2階建、建蔽面積193m ²	東本町2-5-24	昭和5年

付編6. 静岡県の近代和風建築一覧表

静岡県の近代和風建築 静岡県近代和風建築総合調査報告書 2002 静岡県教育委員会 平成14年3月

番号	分類	認定等	名 称	現名称	所在地	認定年代等	面積㎡
6-01	別荘	市	田中松宮神社御主御別邸	集束館	一色町	明治24・25(1891・92)	169
6-02	別荘	-	田中松宮神社御主御別邸御殿	-	一色町	明治24・25(1891・92)	169
6-03	別荘	-	田中松宮神社御主御別邸松御殿	織田明家住宅	一色町	明治24・25(1891・92)	169
6-04	住居	-	河合家住宅	-	大野町	江戸末	328
6-05	住居	登録	津島義主邸	-	中田町	昭和6(1931)	326
6-06	住居	登録	森義典表門	-	中田町	明治6(1901)	329
6-07	住居	-	森義典住宅	-	北沢	明治初	-
6-08	住居	-	原家住宅は門付納屋	-	北沢	明治初	-
6-09	宗教	国	三崎大社社殿	-	大谷町	慶応3(1867)	289
6-10	宗教	-	龍澤寺本堂	-	沢地	明治初	333
6-11	宗教	-	龍澤寺庫裏・普院	-	沢地	-	333
6-12	宗教	-	龍澤寺不動堂	-	沢地	明治初	333
6-13	宗教	市	玉津妙法華寺中鐘楼	-	玉津	-	-
6-14	宗教	市	玉津妙法華寺中鐘楼	-	玉津	-	-
6-15	宗教	-	玉津妙法華寺分教会神殿	-	大村町	明治28(1895)頃	-

付編7. 天然記念物（地質鉱物）調査物件一覧表

静岡県の天然記念物（地質鉱物）天然記念物緊急調査（地質鉱物）報告書 静岡県教育委員会 2004 平成16年9月30日

番号	コード番号	名 称	規模と面積	所在地	規模と面積状況
1	2200149	狩野川の白山蛇石群	500m×500m	御殿場	規模・自然公開未指定 分類：名勝（選定）ランク：星
2	2209162	楽寿園小涌池	65,000m ²	一色町	地下水は枯渇日数が多い 自然公開未指定 分類：天然記念物（1）岩石鉱物及び化石化石の産出、名勝（7）湧泉 定め年月：昭和29年3月20日 所管団 ランク：V

付編8. 静岡県の近代化遺産一覧表

静岡県の近代化遺産 静岡県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書 2000 静岡県教育委員会 平成12年3月

番号	分類	名 称	旧 称	面積㎡	番号	分類	名 称	旧 称	面積㎡
6-01	商業	紙團扇開発大阪道	-	329	6-15	鉄道	田六郷川鉄橋	-	327
6-02	商業	三島駅用金庫本店	-	169	6-16	鉄道	小田原トンネル	-	346
6-03	商業	バタシコニーススター	丸屋丸鶴店	167	6-17	鉄道	田中トンネル	-	346
6-04	商業	森田金物店	千代田屋	167	6-18	鉄道	西伊豆トンネル	-	347
6-05	商業	松井化粧品店	のだや	167	6-19	通信	NTT三島営業所	三島郵便局電話事務室	300
6-06	商業	高橋鍛店	-	167	6-20	行政	三島測候所	-	267
6-07	商業	アリワツ	-	167	6-21	教育	田中家住宅	尋常小学校	362
6-08	商業	小早川酒店	小早川商店	167	6-22	軍事	日本大学記念館	野戦重砲兵第2連隊校倉会館	314
6-09	商業	渡辺理容店	-	168	6-23	軍事	田野戦重砲兵第2連隊門柱	-	314
6-10	商業	村上ギャラリー	村上洋品店	168	6-24	軍事	田野戦重砲兵第2連隊門柱	-	314
6-11	商業	渡辺漆器店	-	168	6-25	軍事	田野戦重砲兵第2連隊門柱	-	314
6-12	商業	倉庫	-	168	6-26	軍事	田野戦重砲兵第2連隊門柱	-	314
6-13	鉄道	三島駅	-	216	6-27	軍事	八幡宮本殿	三島東尋常小学校奉安殿	339
6-14	鉄道	田中谷川鉄橋	-	207	6-28	軍事	天神社本殿	三島西尋常小学校奉安殿	369

付編9. 平成28年度 遺物整理調査事業一覧表

事業名	遺跡名	発掘両者の通過	主な遺構・遺物	整理作業の状況	作業期間	作業の成果
市内遺跡整理作業 三島市	柴原調查 確認調查	平成25年度 平成26年度 20遺跡	【遺構】 構造遺構、埴輪、陶器 【遺物】 土師器、赤土器	単年度	平成28年4月1日 平成29年3月31日	報告書の刊行

付編10. 平成28年度 発掘調査事業一覧表

番号	事業名・事業主	所在地・道路名	調査期間	調査面積	調査方法	道路の時代	有無と備註
1	集合住宅建設工事 個人事業主	青木 青木B道跡 第09地点	平成28年04月19日 ~04月20日	20.00m ²	確認調査	弥生～奈良・近世	無
2	宅地造成工事 個人事業主	柳ヶ谷 柳ヶ谷B道跡 第17地点	平成28年04月26日 ~04月27日	8.00m ²	確認調査	旧石器・縄文	無
3	新築住宅建設工事 個人事業主	大谷町 大谷町B道跡 第13地点	平成28年05月06日	4.00m ²	確認調査	古墳時代～近世	無
4	宅地造成工事 個人事業主	長沢 長沢B道跡 第08地点	平成28年05月20日	16.00m ²	確認調査	弥生	無

番号	事業名・事業主	所在地・遺跡名	調査期間	調査面積	調査方法	遺跡の時代	有無と種類
5	個人住宅建設工事 個人事業主	中島 下久保遺跡 第04地点	平成28年05月28日	4.30㎡	確認調査	弥生～中世	有・平安
6	集合住宅建設工事 個人事業主	八反畠 鶴坂広畠遺跡 第11地点	平成28年06月02日	12.00㎡	確認調査	弥生～中世	無
7	宅地造成工事 株式会社共同開発	長伏 中ノ坪遺跡 第12地点	平成28年07月21日	32.00㎡	確認調査	弥生～中世	無
8	宅地造成工事 株式会社東栄住宅	谷田脇沢 鶴坂広畠遺跡 第07地点	平成28年08月03日	21.00㎡	確認調査	绳文・古墳～近世	無
9	宅地造成工事 個人事業主	橋名	平成28年08月12日	16.00㎡	確認調査	古墳～近世	無
10	個人住宅建設工事 個人事業主	安久 坂込遺跡 第11地点	平成28年11月25日	8.00㎡	確認調査	古墳～中世	無
11	個人住宅建設工事 個人事業主	安久 坂込遺跡 第12地点	平成28年11月29日	4.00㎡	確認調査	古墳～中世	無
12	個人住宅建設工事 個人事業主	庵名 宮城遺跡 第02地点	平成28年12月07日	4.00㎡	確認調査	弥生～奈良・平安	無
13	宅地造成工事 佐藤幸務所	原野新田 下原遺跡 勝手地点	平成29年12月20日 ～ 12月22日	24.00㎡	確認調査	旧石器・縄文	無
14	個人住宅建設工事 個人事業主	東本町 上才塚遺跡 第11地点	平成29年01月18日	8.00㎡	確認調査	奈良～近世	無
15	個人住宅建設工事 個人事業主	鬼町 伊豆國分寺跡 第14地点	平成29年01月24日	4.40㎡	確認調査	奈良～近世	有・奈良
16	宅地造成工事 佐藤幸務所	原野新田 下原遺跡 第10地点	平成29年02月10日 ～ 02月18日	20.00㎡	確認調査	旧石器・縄文	有・縄文
17	宅地造成工事 佐藤幸務所	原野新田 下原遺跡 第11地点	平成29年03月03日 ～ 03月16日	16.00㎡	確認調査	旧石器・縄文	無

付編11. 平成28年度 立会調査事業一覧表

No.	遺跡名	立会調査日	状況	備考	%	遺跡名	立会調査日	状況	備考
1	千枚原作穴群第06地点	平成28年04月02日	通正	平成28年度	11	勝手森魔寺第13地点	平成28年07月06日	通正	平成28年度
2	赤ヶ原寺跡第05地点	平成28年04月05日	通正	平成28年度	12	赤ヶ原寺跡第17地点	平成28年09月12日	通正	平成28年度
3	伊勢原遺跡第17地点	平成28年04月08日	通正	平成27年度	13	上才塚遺跡第13地点	平成28年10月11日	通正	平成27年度
4	谷田前遺跡第09地点	平成28年05月06日	通正	平成28年度	14	伊勢原遺跡第18地点	平成28年12月16日	通正	平成28年度
5	反り田遺跡第02地点	平成28年05月06日	通正	平成27年度	15	坂込遺跡第12地点	平成29年01月06日	通正	平成28年度
6	箱根田原遺跡第08地点	平成28年05月10日	通正	平成28年度	16	宮城遺跡 第02地点	平成29年01月26日	通正	平成28年度
7	青木丘遺跡第09地点	平成28年06月02日	通正	平成28年度	17	上才塚遺跡第14地点	平成29年02月03日	通正	平成28年度
8	長伏遺跡第08地点	平成28年06月07日	通正	平成28年度	18	伊豆國分寺跡第14地点	平成29年02月17日	通正	平成28年度
9	中ノ坪遺跡第12地点	平成28年06月21日	通正	平成28年度	19	上井遺跡 第06地点	平成29年02月24日	通正	平成27年度
10	鶴坂広畠遺跡第11地点	平成28年06月23日	通正	平成28年度					

付編12. 平成28年度 講師派遣等一覧表

実施日	実施場所	対象	人数	区分	対応（氏名）	内訳・その他
1 平成28年04月21日	鶴田小学校	6年生	78人	そよかぜ学習	講師（注）	地域の古墳について講説する。回数は1回。
2 平成28年05月10日	北小学校	6年生	125人	そよかぜ学習	講師（注）	地域の古墳について講説する。回数は1回。
3 平成28年05月12日	西小学校	6年生	63人	そよかぜ学習	講師（注）	地域の古墳について講説する。回数は1回。
4 平成28年05月13日	東小学校	6年生	70人	そよかぜ学習	講師（注）	地域の古墳について講説する。回数は1回。
5 平成28年05月19日	山田小学校	6年生	70人	そよかぜ学習	講師（注）	地域の古墳について講説する。回数は1回。
6 平成28年05月21日	山向小学校	6年生	116人	そよかぜ学習	講師（注）	地域の古墳について講説する。向山古墳群現地見学回数は2回。
7 平成28年05月30日	二島町資料館	一般市民	30人	文化財ボランティア講座	講師（注）	三島の整容・山中古墳群、国府・国分寺・国分尼寺について講説する。
8 平成28年07月15日	三島市ふるさとガイドの会	会員	20人	第10回ガイド資格講座	講師（田中）	三島市街地の史跡を訪ね歩く。
9 平成28年10月30日	岐阜県中津川市 苗木以長会	会員	17人	視察研修	講師（寺田）	山中城跡の復原研修に伴う講師派遣。
10 平成28年10月25日	北条五代觀光推進協議会	会員	25人	幹事会	講師（芦川）	山中城跡の現地見学に伴う講師派遣。
11 平成28年11月17日	神奈川県松田町 教育委員会	文化財保護委員会	6人	文化財保護委員会	講師（寺田）	山中城跡の現地研修に伴う講師派遣。
12 平成28年11月25日	羽生史談会	会員	13人	羽生史談会	講師（寺田）	山中城跡の現地見学に伴う講師派遣。
13 平成28年12月02日	あさひ野市教育 委員会	市民解説委員	25人	市民解説委員養成講座	講師（寺田）	山中城跡の現地見学に伴う講師派遣。
14 平成29年02月11日	三島市地域プラ ットフォーム協議会	会員	10人	AMORE MISHIMA! イベント	講師（注）	イベント「三島でアグリワーリズモ」実施に伴う講師派遣。

付編13. 平成28年度 考古資料貸出・提供一覧表

請求年月日	申請者	利用の目的と方法	資料名
1 平成28年08月24日	岩佐博物館	第62回企画展「ナイフ石器」に展示	初音・夏A過疎出土石器30点、写真2点
2 平成28年12月02日	宮土山かぐや姫ミュージアム	富士・沼津・三島3市博物館共同企画展「駿東・北伊豆の戦国時代」に展示	水楽酒室、兵製品、武具、史料山中城写真等計18点
3 平成28年12月27日	登呂博物館	企画展Ⅲ「静岡考古祭」に展示	箱根山過疎出土祭祀関係土器14点、複数削除跡吊り手土器1点

付編14. 平成28年度 写真資料使用承諾一覧表

請求年月日	申請者	利用の目的と方法	資料名	掲載年月
1 平成28年04月26日	中島史談会	「故・今を聞いた中島の人びと」に掲載	紙本着色白羅白面像	平成28年10月
2 平成28年04月27日	㈱ナイス	「ぬりうし」「東海道五十七次」の旅手帳」に掲載	山中城跡 写真	平成28年06月30日
3 平成28年07月26日	㈱N&K出版	片吉駄味どきゅう「お城へ行こう」名勝の赤版 お城が「遊る〜」に掲載	山中城跡 写真	平成28年09月20日
4 平成28年08月01日	制作会社たまゆら	びご「日曜り おとなさんのさんば旅」に掲載	山中城跡 写真	平成28年10月10日
5 平成28年08月25日	テレビ朝日映像部	「日本の城見聞録」「北条の城2時間SP」	山中城跡 写真	平成28年06月30日
6 平成28年09月29日	日本経済新聞社	朝日プラス1	山中城跡 写真	平成28年10月08日
7 平成28年09月30日	国立科学博物館	「世界遺産 ラスコー翼」回顧、展示パネル	熊根西麓ローム層の堆積と土壌断面	平成28年11月01日
8 平成28年12月13日	㈱エコ・ナレッジ	WBS Bサイト「SAMURAI SHORUDO」掲載	山中城跡 写真	平成28年03月
9 平成28年12月20日	㈱流行発信	おでかけ人気東海版3	山中城跡 写真	平成28年01月31日
10 平成28年12月27日	登呂博物館	企画展Ⅲ「静岡考古祭」の印刷物に掲載	向山古墳群 写真	平成28年01月07日
11 平成29年01月10日	タカラヅクリーズム	旅の友3月号、旅の友4月号	山中城跡 写真	平成29年02月10日、平成29年03月10日
12 平成29年01月19日	毎日新聞社	毎日新聞コーナー「旅する見つける」にて掲載	山中城跡 写真	平成29年01月29日
13 平成29年03月02日	㈱曾我社	エバーハーベンズ・ジャパン社刊行「週刊 戦国王」 にて飯能公社を紹介する	足利義知の墓 芬菖	平成29年04月25日
14 平成29年03月15日	日本城郭協会	日本100名城に行こう	史跡山中城 写真	
15 平成29年03月29日	㈱TBSテレビ	番組名「ゴロウ・デラックス」で使用	山中城跡 写真	平成29年05月04日
16 平成29年03月	光村叢書舎編集	日本の原風景 城	史跡山中城 写真	平成29年06月07日

付編15. 文化財関係刊行図書一覧表

No.	出版	西題	図書名	概要
001	昭和32年度	1958	「三島市誌上巻」	市誌
002	昭和34年度	1959	「三島市誌中巻」	市誌
003	昭和34年度	1959	「三島市誌下巻」	市誌
004	昭和41年度	1967	「三島市千枚原遺跡－柴原溝柵窓－」	報 告
005	昭和44年度	1970	「三島の文化財」	パンフレット
006	昭和47年度	1972	「三島の文化財」再版	パンフレット
007	昭和48年度	1974	「史跡山中城跡発掘調査－第一次調査－」	報 告
008	昭和49年度	1975	「山中城跡文書資料集」	報告書
009	昭和50年度	1975	「神ノ草原、今井遺跡跡発掘調査－昭和49年度箱根塚原ハイバス埋蔵文化財発掘調査」	報告書
010	昭和50年度	1975	「史跡山中城跡II－昭和49年度箱根塚原発掘調査報告書」	報告書
011	昭和50年度	1976	「史跡山中城跡Ⅱ－昭和50年度箱根塚原発掘調査報告書」	報 告
012	昭和52年度	1978	「戦の森 史跡山中城跡－公認会員基本構想－」	報告書
013	昭和54年度	1980	「史跡山中城跡Ⅱ－昭和51～54年度発掘調査発掘季業報告書」	報 告
014	昭和54年度	1980	「三島市遺跡地図」	遺跡地図
015	昭和54年度	1980	「戦国の歴史を伝える 史跡山中城跡へのいざない」	パンフレット
016	昭和54年度	1980	「三島の文化財」第3版	パンフレット
017	昭和56年度	1981	「史跡山中城跡公園 開園のしおり」	パンフレット
018	昭和56年度	1982	「国道1号三ツ谷ハイバス埋蔵文化財発掘調査－56年度－」	報 告
019	昭和56年度	1982	「御用天台遺跡－三島市谷田宅遺跡に伴う調査報告書」	報告書
020	昭和57年度	1982	「国道1号三ツ谷ハイバス埋蔵文化財発掘調査報告書－57年度－」	報 告
021	昭和57年度	1983	「『松下道場』」	報告書
022	昭和57年度	1983	「『鳥下舞台跡』」	報告書
023	昭和58年度	1984	「史跡山中城跡－第1回分－」	報告書
024	昭和58年度	1984	「一般国道1号三ツ谷ハイバス埋蔵文化財発掘調査報告書－カシラガシ・奥山・天神・山・大瀬・宮向－」	報告書
025	昭和58年度	1984	「鷹喰遺跡－発掘調査報告書－」	報告書
026	昭和58年度	1984	「三島市誌補遺のしおり」	市誌

No.	年度	西暦	図書名	種別
027	昭和59年度	1985	「史跡山中城跡－第2分冊－」	報告書
028	昭和59年度	1985	「史跡山中城跡」	報告書
029	昭和59年度	1985	『安久美跡－昭和59年度埋蔵文化財発掘調査報告書－』	報告書
030	昭和59年度	1985	『三島市小浜池保存調査に関する報告書』	報告書
031	昭和59年度	1985	『三島市誌上・中・下巻』復刻	市誌
032	昭和60年度	1986	『北山城跡－鳥居・農道・建設地内埋蔵文化財発掘調査概報－』	概要
033	昭和61年度	1987	『三島の遺跡－昭和61年度埋蔵文化財発掘調査の概要－』	年報
034	昭和61年度	1987	『丁字平山跡群－三島スプリングスカントリー別荘群ゴルフ場造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』	報告書
035	昭和61年度	1987	『北草薙跡－朝倉の里建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報－』	報告書
036	昭和61年度	1987	『三島水記』	市誌
037	昭和61年度	1987	『三島の文化財』	パンフレット
038	昭和62年度	1987	『三島市誌増補』	市誌
039	昭和62年度	1987	『発掘未完成された史跡山中城跡』	パンフレット
040	昭和62年度	1987	『三島の文化財－ガイドマップ－』	リーフレット
041	昭和62年度	1988	『砥石・大山田跡－三島沢地工業団地建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報－』	報告書
042	昭和62年度	1988	『北山城跡Ⅱ－鳥居改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報－』	報告書
043	昭和62年度	1988	『史跡山中城跡Y－昭和62年度山頂開拓を兼ね季業執事』	報告書
044	昭和63年度	1988	『三島の遺跡vol.2－昭和62年度文化財保護事業の概要－』	年報
045	昭和63年度	1988	『三島市埋蔵地図－地名表』	地図
046	昭和63年度	1989	『安久美跡－土浦区埋蔵文化事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』	報告書
047	昭和63年度	1989	『史跡山中城跡Ⅰ－沼田跡の年度発掘調査を要する季業執事－』	報告書
048	昭和63年度	1989	『初音・遠越跡Ⅲ－都心計画道路構造に伴う埋蔵文化財発掘調査概要－』	報告書
049	昭和63年度	1989	『三島市埋蔵地 資料編Ⅰ』	市誌
050	昭和63年度	1989	『三島の文化財』	ビデオ
051	平成元年度	1989	『三島市文化財年報－第1号－』	年報
052	平成元年度	1990	『伊豆国分寺開創遺跡－伊豆国分寺跡第1地点の発掘調査報告書－』	報告書
053	平成元年度	1990	『三島スプリングスC・C・ゴルフ場内埋蔵文化財発掘調査報告書I－徳倉片平山山道跡－ソノエササ日道跡－徳倉片平山道跡 徳倉片平山山道跡－』	報告書
054	平成元年度	1990	『十石橋遺跡－新設工事建設に伴う埋蔵文化財調査報告書－』	報告書
055	平成元年度	1990	『三島市大内城遺跡I－三崎大社客室・社務所延焼に伴う発掘調査報告書－』	報告書
056	平成元年度	1990	『史跡山中城跡Y－平成元年度発掘調査を要する季業執事－』	報告書
057	平成元年度	1990	『三島C・C・ゴルフ場内埋蔵文化財発掘調査報告書I－五輪遺跡・親音洞G道跡第1地点・親音洞G道跡第2地点・元山中C道跡・陰附B道跡・陰附B道跡・斯御C道跡・陰附E道跡・親音洞B道跡・親音洞B道跡－』	報告書
058	平成元年度	1990	『三島の文化財－ガイドマップ－』	リーフレット
059	平成2年度	1990	『三島の文化財年報－第2号－』	年報
060	平成2年度	1991	『安久美跡遺跡』	報告書
061	平成2年度	1991	『上阿波死道跡』	報告書
062	平成2年度	1991	『夏海木曾跡－夏海木本地区宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査概報－』	報告書
063	平成3年度	1991	『三島の文化財年報－第3号－』	年報
064	平成3年度	1992	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告書I－蛭ヶ原ア道跡第3地点 伊豆国分寺開創道跡第2地点 加茂向山道跡 史跡山中城跡第15次発掘調査 斎田山道跡 三島代官所 地点 神社古原古墳群 福堤面舟－』	報告書
065	平成3年度	1992	『三島スプリングスC・C・ゴルフ場内埋蔵文化財発掘調査報告書II－中村C道跡 徳倉片山B道跡 徳倉片山B道跡－』	報告書
066	平成3年度	1992	『上才賀川跡第1地点－中高層住宅建設に伴う発掘調査報告書－』	報告書
067	平成3年度	1992	『上才賀川跡第2地点－日置マッシュション建設に伴う発掘調査報告書－』	報告書
068	平成3年度	1992	『長佐・平山田跡－貯糞廐建設に伴う埋蔵文化財発掘調査－』	報告書
069	平成3年度	1992	『玉川田中道跡－藤岡トトタ自動営業所建設に伴う発掘調査報告書－』	報告書
070	平成3年度	1992	『史跡山中城跡Y－平成2・3年度発掘調査実施季業執事－』	報告書
071	平成3年度	1992	『三島市埋蔵地 資料編II』	市誌
072	平成4年度	1993	『三島市文化財年報－第4号－』	年報
073	平成4年度	1993	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告書II－向山古墳 植田道跡 確認調査－』	報告書
074	平成4年度	1993	『金沢跡－馬込マッシュション建設に伴う発掘調査－』	報告書
075	平成4年度	1993	『史跡山中城跡Y－平成2・4年度発掘調査実施季業執事－』	報告書
076	平成5年度	1993	『三島市文化財年報－第5号－』	年報
077	平成5年度	1994	『三島の埋蔵文化財発掘調査報告書III－三島街殿道跡第1地点 山中城跡三ノ丸第2地点 反烟道跡第3地点 田山道跡 藤原坂下道跡 試掘調査－』	報告書
078	平成5年度	1994	『史跡山中城跡Y』	報告書
079	平成5年度	1994	『五輪・親音洞・元山中・陰附道跡・グランフィールズC・C・ゴルフ場内埋蔵文化財発掘調査報告書－』	報告書
080	平成5年度	1994	『未作ののみう・奈良横内道跡・西大久保道跡・西大久保道跡・西大久保道跡・西大久保道跡に伴う埋蔵文化財の概要－』	報告書
081	平成5年度	1994	『打夢』舞台・東海道・東海道三島郡と箱根街道－	パンフレット
082	平成5年度	1994	『打夢』舞台・東海道・東海道三島郡と箱根街道－	ビデオ
083	平成5年度	1994	『三島の文化財－ガイドマップ－』改訂版	リーフレット
084	平成6年度	1994	『三島の文化財年報－第6号－』	年報
085	平成6年度	1995	『三島の埋蔵文化財発掘調査報告書IV－初音・A道跡第4地点 谷戸道跡 植根田道 長伏六反田道跡 三島御殿跡第2地点 地質科学分野－』	報告書
086	平成6年度	1995	『三島代官所－蛭ヶ原ア道跡遺跡I－東本町辛那詰单歩道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』	報告書
087	平成6年度	1995	『大塚川跡群－大塚川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』	報告書
088	平成6年度	1995	『山中城跡Y・九丸I地点－山中公民館建設に伴う発掘調査報告書－』	報告書
089	平成6年度	1995	『三島大社のお田井・静岡県指定無形民俗文化財 るると民俗芸能ビデオNo.24-1』	ビデオ

No.	年度	西暦	書類名	種別
090	平成7年度	1995	「三島市文化財年報－第7号－」	年報
091	平成7年度	1996	「三島市埋蔵文化財発掘調査報告書V－伊豆国分寺開道跡第3地点 向山古墳群測量調査 試掘調査 自然科学分析－」	報告書
092	平成7年度	1996	「西人久保・奈良楓の遺跡－道溝ノ号線改修工事に伴う発掘調査－」	報告書
093	平成7年度	1996	「待合室遺跡－因縁ノ号線改修工事に伴う発掘調査－」	報告書
094	平成7年度	1996	「国指定史跡 山中城跡」	リーフレット
095	平成7年度	1996	「鳥居跡・静岡県指定無形民俗文化財 ふるさと民俗芸能ビデオ№29－」	ビデオ
096	平成8年度	1996	「三島市文化財年報－第8号－」	年報
097	平成8年度	1997	「三島大社境内遺跡第5地点・三島大社宝物館改修工事に伴う発掘調査－」	報告書
098	平成8年度	1997	「『平C』遺跡・小平日遺跡・市民結合健楽センター建設 緑の市民運動公園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
099	平成9年度	1997	「三島市文化財年報－第9号－」	年報
100	平成9年度	1998	「三島市埋蔵文化財発掘調査報告書VI－柳音ヶ原B遺跡第1地点 赤玉古墳群 試掘調査 自然科学分析－」	報告書
101	平成9年度	1998	「赤玉古墳群－道溝ノ遺跡 試掘調査－墓合急造地盤総合整備事業に伴う発掘調査報告書－」	報告書
102	平成9年度	1998	「三島の文化遺跡ガイドマップ」改訂版再版	リーフレット
104	平成10年度	1998	「谷田前田遺跡第2地点 - 谷田（齊沢）共同住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
105	平成10年度	1998	「三島市文化財年報－第10号－」	年報
106	平成10年度	1998	「『伏六反田遺跡』-ヤマト運輸（株）新津店ベース建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
107	平成10年度	1999	「『伏六反田遺跡』-ヤマト運輸（株）新津店ベース建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
108	平成10年度	1999	「磐根旧街石造踏櫻事業報告書」	報告書
109	平成10年度	1999	「磐音ヶ原遺跡－都心園西道路谷田幸園インクチャージ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
110	平成10年度	1999	「磐音ヶ原遺跡－都心園西道路谷田幸園インクチャージ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
111	平成11年度	1999	「三島市文化財年報－第11号－」	年報
112	平成11年度	2000	「『磐音ヶ原遺跡－谷田幸園』-住友宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
113	平成12年度	2000	「三島市文化財年報－第12号－」	年報
114	平成12年度	2001	「『磐音ヶ原遺跡』-都心園西道路谷田幸園インクチャージ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
115	平成12年度	2001	「史跡山中城跡 - 発掘調査と確認調査の概要－」	パンフレット
116	平成12年度	2001	「磐根旧街石造 - 肇原事業の概要－」	リーフレット
117	平成13年度	2001	「三島市文化財年報－第13号－」	年報
118	平成13年度	2002	「『磐音ヶ原遺跡』-都心園西道路谷田幸園インクチャージ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
119	平成13年度	2002	「『磐音ヶ原B遺跡第4地点－尾根造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』	報告書
120	平成13年度	2002	「『磐音ヶ原B遺跡－施設造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』	報告書
121	平成13年度	2002	「史跡山中城跡－北条氏角治出しや障子屋の残る山城－」	パンフレット
122	平成14年度	2002	「三島市文化財年報－第14号－」	年報
123	平成14年度	2003	「三島市埋蔵文化財発掘調査報告書－砥石B遺跡・大山田B遺跡 赤玉清水洞横穴墓群 カンカン穴横穴墓群 試掘・確認調査 所蔵考古資料調査 自然科学分析－」	報告書
124	平成14年度	2003	「大山田遺跡 - 店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
125	平成14年度	2003	「磐根旧街道路 - 黒塚」	リーフレット
126	平成15年度	2003	「三島市文化財年報－第15号－」	年報
127	平成15年度	2004	「三島市埋蔵文化財発掘調査報告書X－中島B遺跡上舞台跡点 所蔵考古資料調査 自然科学分析－」	報告書
128	平成15年度	2004	「山口D遺跡 - 東山道跡 各番付D-1遺跡 津山道跡 - 甚目寺大橋改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	報告書
129	平成15年度	2004	「『磐音ヶ原遺跡』-都心園西道路谷田幸園インクチャージ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－」	リーフレット
130	平成16年度	2004	「三島市文化財年報－第16号－」	年報
131	平成16年度	2005	「三島市埋蔵文化財発掘調査報告書X-乾草崎遺跡 反畠遺跡第9地点 試掘・確認調査 所蔵考古資料調査 自然科学分析－」	報告書
132	平成16年度	2005	「国指定史跡 - 磐根旧街道路西坂」	リーフレット
133	平成17年度	2005	「三島市文化財年報－第17号－」	年報
134	平成17年度	2006	「三島市埋蔵文化財発掘調査報告書XII-渋谷古墳群第1・2号墳 青木本道跡第2地点試掘・確認調査 所蔵考古資料調査 自然科学分析 保存処理－」	報告書
135	平成18年度	2006	「東雲河・伊豆の古墳と横穴式 - 発掘された日本列島 2006 地域展－」	図録
136	平成18年度	2006	「三島市文化財年報－第18号－」	年報
137	平成18年度	2007	「三島市埋蔵文化財発掘調査報告書XII 試掘・確認調査 所蔵考古資料調査」	報告書
138	平成18年度	2007	「三島市にある国の登録有形文化財」	リーフレット
139	平成18年度	2007	「史跡山中城跡木等敷石」	報告書
140	平成19年度	2007	「三島市文化財年報－第19号－」	年報
141	平成19年度	2008	「三島市埋蔵文化財発掘調査報告書XIII-林指定史跡河山古墳群 - 伊豆国分寺第6地点 - 試掘・確認調査 - 自然科学分析 保存処理－」	報告書
142	平成19年度	2008	「国指定史跡 山中城跡 - 北条氏角治出しや障子屋の残る山城」 写真	パンフレット
143	平成19年度	2008	「三島市にある国の登録有形文化財」改訂版	リーフレット
144	平成20年度	2008	「三島市文化財年報－第20号－」	年報
145	平成20年度	2009	「三島市埋蔵文化財発掘調査報告書XIV-有木原遺跡第4地点 - 宮ノ前B遺跡第3地点 - 試掘・確認調査、所蔵考古資料調査 - 自然科学分析 保存処理－」	報告書
146	平成21年度	2009	「三島市文化財年報－第21号－」	年報
147	平成21年度	2009	「『磐音ヶ原遺跡5・6地点』」	報告書
148	平成21年度	2010	「三島市埋蔵文化財発掘調査報告書XV-試掘・確認調査、所蔵考古資料調査」	報告書
149	平成21年度	2010	「『磐音ヶ原遺跡3・4地点』」	報告書
150	平成21年度	2010	「国指定史跡 山中城跡」 写真	リーフレット

No.	年度	西暦	図書名	種別
151	平成22年度	2010	『三島市文化財年報－第22号－』	年報
152	平成22年度	2011	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告XVI-発掘調査・試掘・確認調査-』	報告書
153	平成22年度	2011	『三島市遺跡遺構・地名記』	地図
154	平成23年度	2011	『三島市文化財年報－第23号－』	年報
155	平成23年度	2012	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告XVII-遺跡調査-三島市瀬跡地区個別範囲図-』	地図
156	平成23年度	2012	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告XVIII-西遺跡地6遺跡-』	報告書
157	平成24年度	2013	『三島市文化財年報－第24号－』	年報
158	平成24年度	2013	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告XIX-確認調査-』	報告書
159	平成25年度	2013	『三島市文化財年報－第25号－』	年報
160	平成25年度	2014	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告XX-確認調査-』	報告書
161	平成25年度	2014	『山中城跡』	報告書
162	平成25年度	2014	『駿合寺八遺跡』	報告書
163	平成26年度	2015	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告・補助事業版第1号』	報告書
164	平成26年度	2015	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告XX-確認調査-』	報告書
165	平成27年度	2015	『三島市文化財年報－第26・第27号－』	年報
166	平成27年度	2015	『人面型磨土器－古代祭祀へのいざない～』改訂版	リーフレット
167	平成27年度	2015	『箱根田原遺跡』	リーフレット
168	平成27年度	2015	『平安・鎌倉古道』	リーフレット
169	平成28年度	2017	『三島市文化財年報－第28号－』	年報
170	平成28年度	2017	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告・補助事業版第2号』	報告書
171	平成28年度	2017	『山中城D遺跡・山中城E遺跡』	報告書
172	平成28年度	2017	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告 XXI-山中城跡・本調査・確認調査』	報告書
173	平成28年度	2016	『山内壇跡公園』	リーフレット
174	平成29年度	2017	『三島市文化財年報－第29号－』刊行予定	年報
175	平成29年度	2018	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告・補助事業版第3号』刊行予定	報告書
176	平成29年度	2018	『白崎A遺跡』刊行予定	報告書

三島市教育委員会 教育推進部 地方文化財室
〒411-0035
静岡県三島市大宮町1丁目8番38号
TEL 055-983-2672 FAX 055-972-0870
e-mail : bunkazai@city.mishima.shizuoka.jp

©2017

静岡県三島市 文化財年報

- 第29号 -

平成29年12月27日 印刷・発行
編集・発行 三島市教育委員会
印 刷 文光堂印刷株式会社

